阪南市埋蔵文化財報告 32

阪南市埋蔵文化財発掘調査概要XIX

２００４年
阪南市教育委員会

はしがき

阪南市は大阪府南部に位置し、大阪市のベッドタウンとしての様相を呈しています。近年では、今年開港10周年を迎える関西空港の埋め立て用の土砂採取が市内の山林で行われ、その跡地が住宅街となっています。この時期を中心として、市内では道路建設や住宅開発工事等が盛んに行われていました。こうした工事により、市内における埋蔵文化財の発掘調査も頻繁に実施されるようになりました。

しかし、長引く不況により、開発行為自体の件数は減少しています。埋蔵文化財の調査件数も横ばいの状況です。こうした工事の減少は、埋蔵文化財の保護の観点からは、プラスとなっていますが、経済不況については、早急に回復を望むものです。

一方、現在本市を含む、大阪府南部の５市町は、合併を目途に協議を進めています。この合併が成立すれば、新しい「市」による、様々なインフラ整備が実施される可能性があります。これにより、新たに埋蔵文化財への影響もあるものと思われます。

さて、本書は本市が国庫補助金を受け、個人の住宅建築等に先立って埋蔵文化財の「記録保存」として実施した発掘調査報告書です。

末筆にはなりましたが、土地所有者をはじめ、関係者各位に深く感謝を申し上げます。

2004年３月

阪南市教育委員会
教育長　川 村 一 郎

例　　言

1．本書は、阪南市教育委員会生涯学習推進課が平成15年度国庫補助事業として計画実施した阪南市埋蔵文化財発掘調査概要報告書である。

2．調査は、生涯学習部生涯学習推進課三好義三、田中早苗、上野 仁及び松本武志を担当として実施した。

3．本書内に示した標高は、T．P．であり、方位は既製の地形図などを使用したものを除いて磁北である。

4．調査にあたっては、土地所有者など、関係者各位の理解と協力を得た。ここに記して感謝の意を表したい。

5．本書の執筆・編集は、上記の調査担当者が行った。また、発掘調査、整理作業には以下の従事者があたった。

6．本調査における記録は、実測図、写真、カラースライドなどに保存されている。当教育委員会にて保管しているので、広く活用されたい。

（調査従事者）

宇沢克之、太田敏治、平坂博司、上野高男、中出源三、中寺邦利、遠山法城、松岡崇、根無吉隆、薥林達也、和田旬世、井上祥子、井上　進、上田妙子、島田万帆、中寺幸子、丹羽明子、広島良子

目　　次

第１節　尾崎清水遺跡	（1）０３－１区	1
第２節　馬川北遺跡	（1）０２－２区	2
	（2）０２－３区	3
	（3）０２－４区	4
	（4）０２－５区	5
	（5）０２－６区	
	（6）０２－７区	6
	（7）０２－８区	7
	（8）０２－９区	
第３節　馬川遺跡	（1）０３－１区	8
第４節　下出遺跡	（1）０３－１区	
	（2）０３－２区	9
第５節　黒田南遺跡	（1）０３－１区	10
	（2）０３－２区	11
第６節　神光寺（蓮池）遺跡	（1）０３－２区	
第７節　向出遺跡	（1）０３－１区	13
	（2）０３－２区	
第８節　高田遺跡	（1）０３－１区	14
第９節　和泉鳥取遺跡	（1）０３－１区	
第１０節　貝掛遺跡	（1）０２－１区	15
	（2）０３－１区	18
第１１節　田山東遺跡	（1）０３－１区	25

第１節　尾崎清水遺跡

（１）03－1区

１．調査の概要(第２～４図)

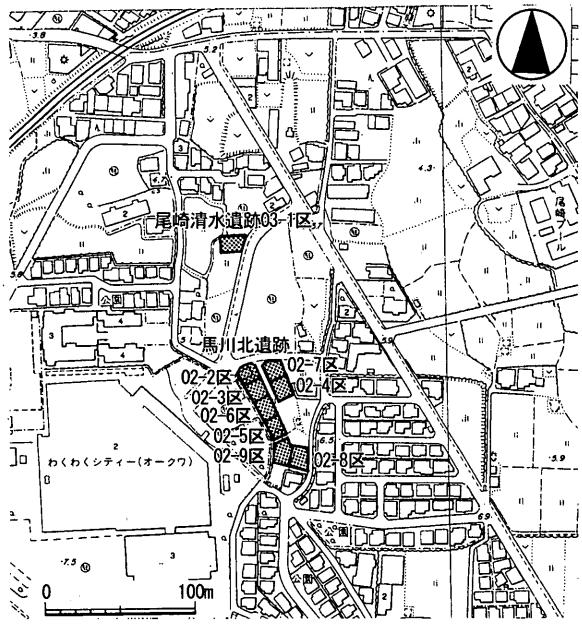
調査区は尾崎清水遺跡の西南端部に位置し、馬川北遺跡に隣接し、後述の馬川北遺跡02-2区から02-9区は本調査区の約100ｍ南に所在する。調査は2.0ｍ×1.3ｍのトレンチを設定して行なった。

近年の盛土、耕作土以下の基本層序は、第３層淡黄灰色土、第４層灰茶色土、第５層明黄灰色土、第６層灰黄色土、第７層暗灰色土、第８層灰黄色礫混土の順であった。このうち、第７層と第８層はその堆積状況から周辺の遺跡でみられる自然流路の堆積層であると考えられる。

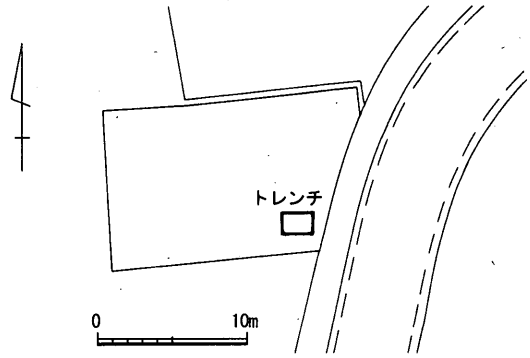
遺物は、第４層から中世期の瓦等、第５層から瓦器、製塩土器等、第７層から土師器等が出土した。

２．遺物(第５図)

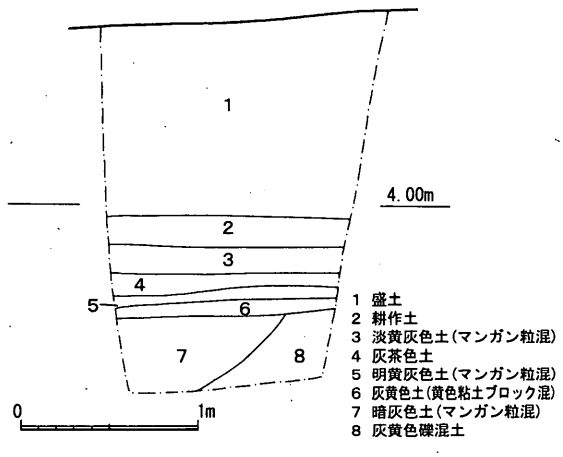
図化した遺物は以下の５点であった。１は弥生時代の製塩土器の脚部。２は須恵器の坏蓋。３は同じく須恵器の壷の口縁部。４は瓦器椀。５は土師質土器の小皿。全て第５層から出土した。



第２図　尾崎清水遺跡・馬川北遺跡調査区位置図



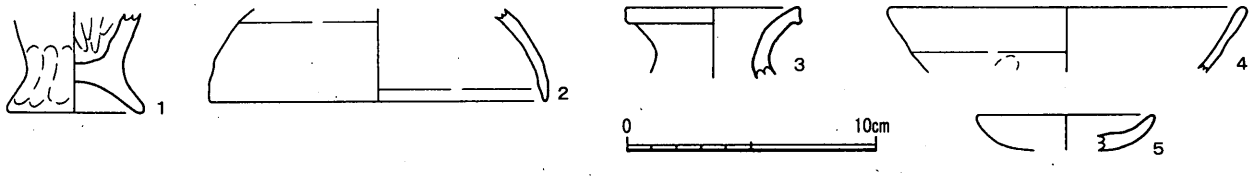
第３図　尾崎清水遺跡03-1区　トレンチ位置図



第４図　尾崎清水遺跡03-1区　トレンチ東側断面図

第２節　馬川北遺跡

馬川北遺跡は、本市東端部を流れる男里川下流左岸に形成された段丘下に位置する。既往の調査では、縄文時代晩期の滋賀里Ⅳ

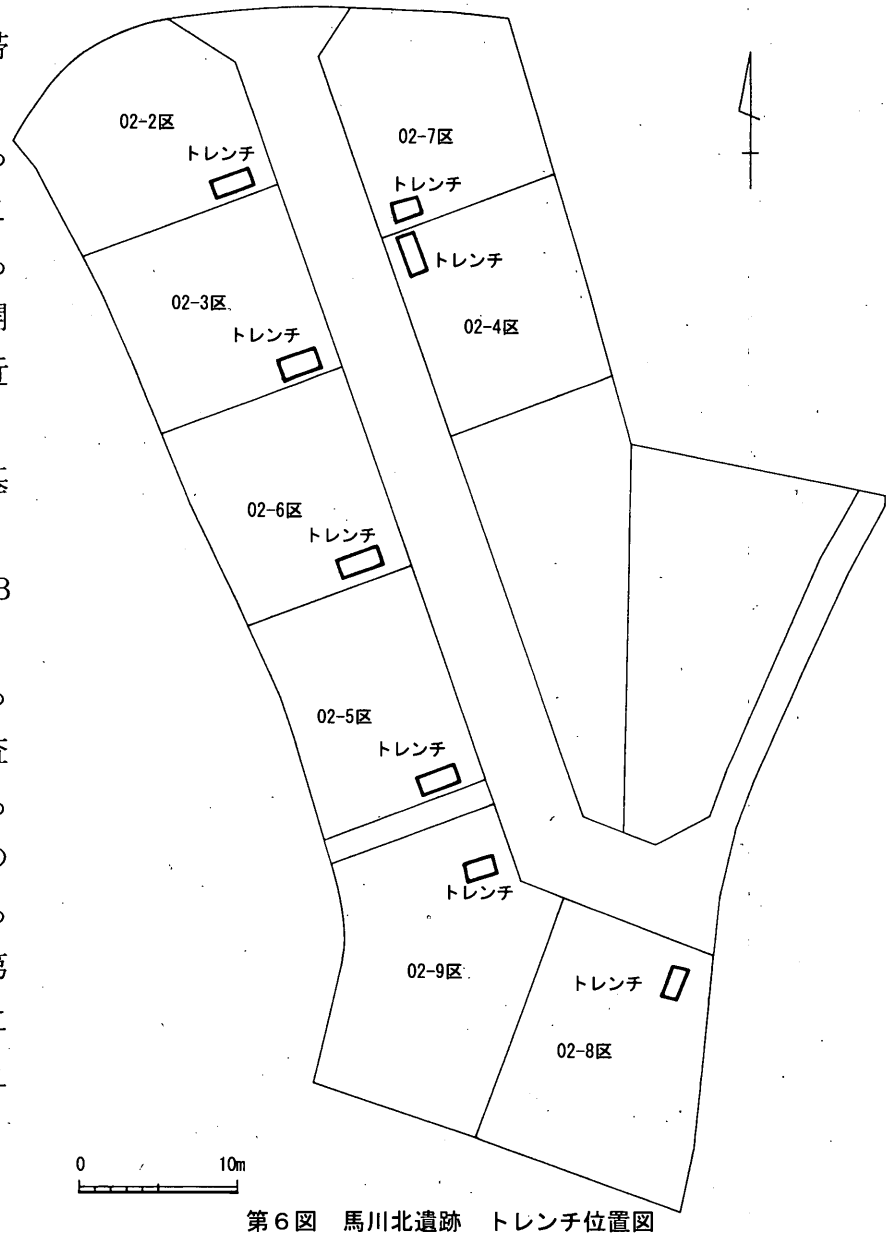


第５図　尾崎清水遺跡03-1区　出土遺物

期頃に属すると思われる凸帯文土器が出土している。

以下に報告する02-2区から02-9区までの８調査区は、この馬川北遺跡のほぼ中央から北に位置し、いずれも同じ開発地内にあり、それぞれが近接している。

これらの調査区における基本的な層序は、第１層近年の盛土、第２層耕作土、第３層灰色土、第４層茶灰色土、第５層淡灰褐色土の順であった。以下に示すように、調査区によっては、第５層が見られない場合やそれぞれの層の上下に部分的に別の層が見られる場合があった。また、第５層以下に堆積している層については、流路の埋土と考えられる。

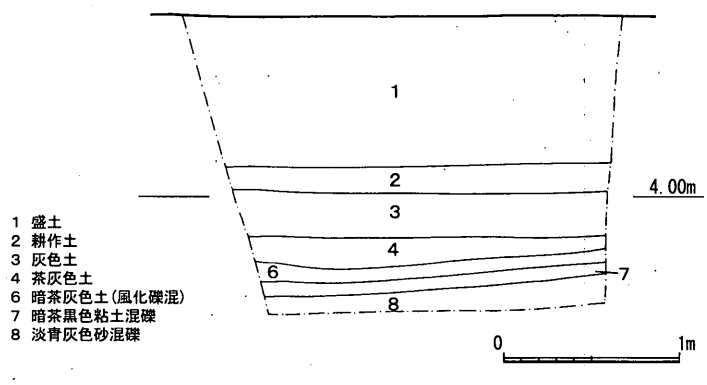


第６図　馬川北遺跡　トレンチ位置図

（１）02−2区

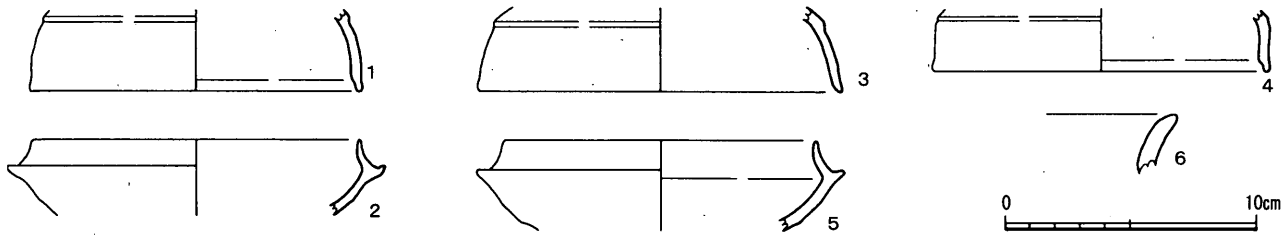
１．調査の概要(第２・６・７図)

調査は、2.6m×1.1mのトレンチを設定して行なった。上述の基本層序のうち、第５層は見られず、第４層直下に暗茶灰色土、暗茶黒色粘土混礫、淡青灰色砂混礫の３つの堆積層が確認された。これらの３つの堆積層は、上述したように流路の埋土と考えられる。この流路以外に遺構は検出されなかった。



第７図　馬川北遺跡02-2区　トレンチ南側断面図

遺物は、第３層及び第４層から瓦器をはじめ、須恵器、土師器等が出土している。



第８図　馬川北遺跡02-2区　出土遺物

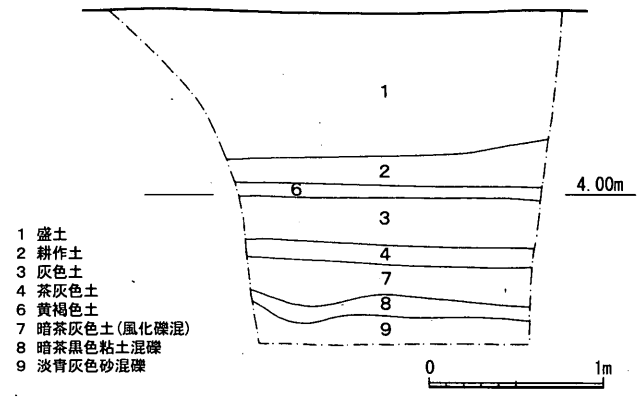
２．遺物(第８図)

図化した遺物は、以下の６点であった。１及び３、４は須恵器の坏蓋。２と５は同じく坏身。６は土師器甕の口縁部。１と２が第３層から、３以下は第４層から出土した。

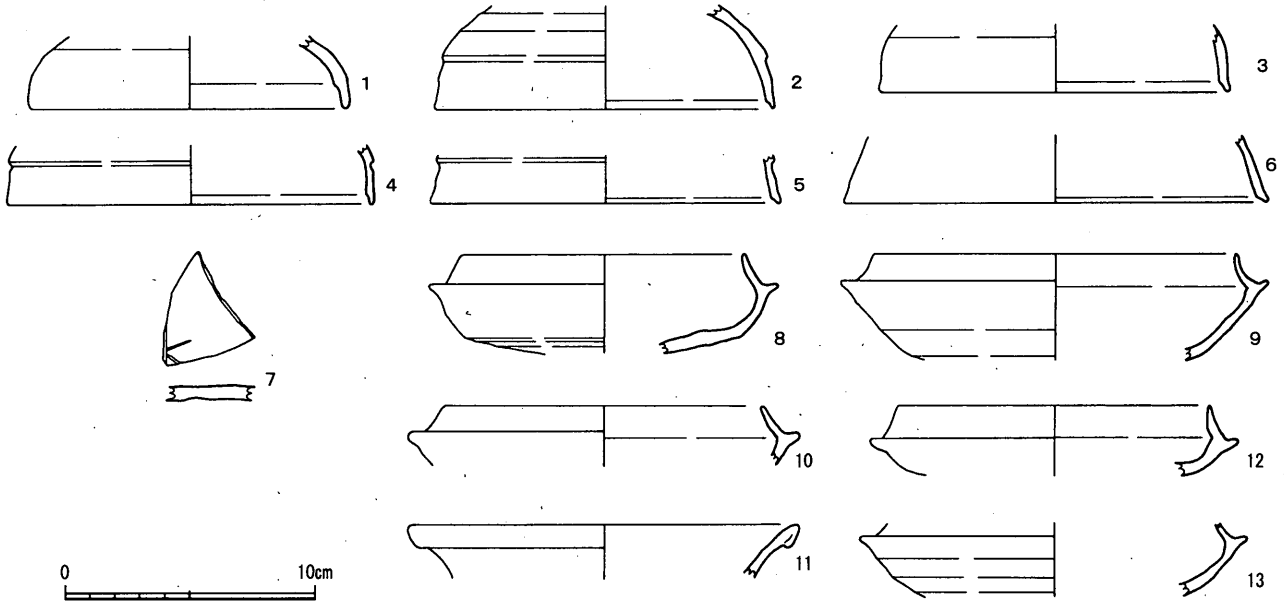
（２）02－3区

１．調査の概要(第２・６・９図)

調査は、2.6m×1.3mのトレンチを設定して行なった。調査トレンチの層序としては、基本層序の第３層直上に黄褐色土がみられ、第３層灰色土、第４層茶灰色土以下に流路の埋土である暗茶灰色土、暗茶黒色粘土混礫、淡青灰色砂混礫が確認された。



第９図　馬川北遺跡02-3区　トレンチ南側断面図



第10図　馬川北遺跡02-3区　出土遺物

流路以外の遺構は検出されなかった。

遺物は、第３層から瓦器、須恵器、サヌカイト等が、第４層から製塩土器等が、暗茶灰色土から土師器、須恵器が出土している。

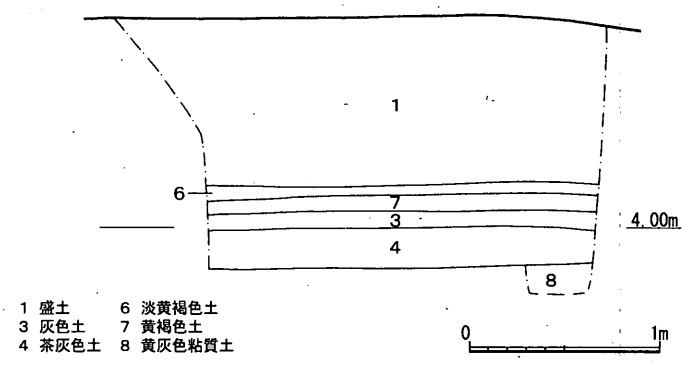
２．遺物(第10図)

図示した遺物は、以下の14点であった。１～７は須恵器の坏蓋。７はヘラ記号が見られる。８～10及び12、13は、同じく坏身。11は同じく壷の口縁部。１は第３層、２～12は第４層、13及び14は暗茶灰色土から出土した。

（３）02－4区

１．調査の概要(第２・６・11図)

調査は、2.6m×1.3mのトレンチを設定して行なった。近年の盛土以下の層序は、耕作土が見られず、第３層上に淡黄褐色土、黄褐色土が存在し、第４層茶灰色土直下に黄灰色粘質土が確認された。



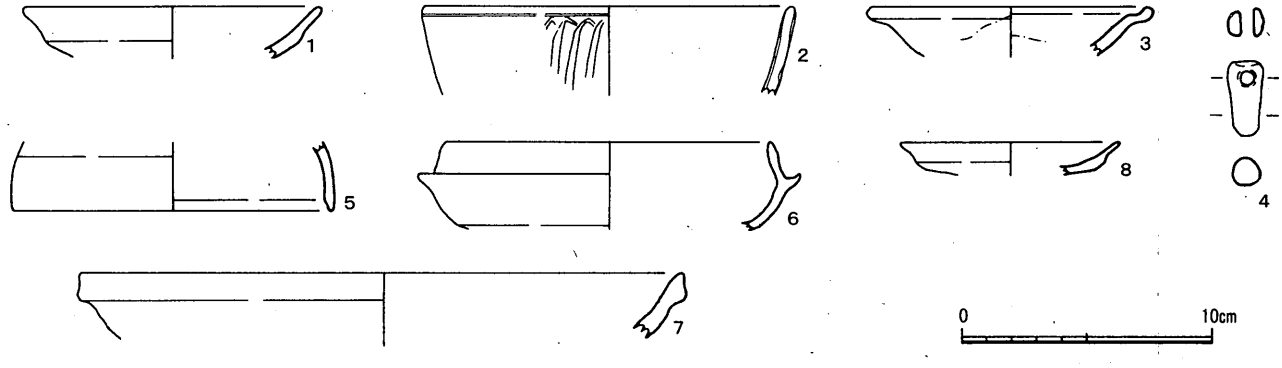
第11図　馬川北遺跡02-4区　トレンチ西側断面図

流路以外の遺構は、検出されなかった。

遺物は、黄褐色土から瓦器、陶器等が、第３層から白土器、土師質有孔土錘等が、第４層から瓦器、サヌカイト、須恵器等が出土した。

２．遺物(第12図)

８点について、下記のとおり図化した。１は瓦器埦。２は蓮弁文の青磁埦。３は陶器の皿。４は土師質有孔土錘。５は須恵器坏蓋。６は同じく坏身。７は須恵質土器。いわゆる東播系捏鉢の口縁部。８は土師質小皿。１～３は黄褐色土層から、４は第３層から、５～８は第４層から出土した。



第12図　馬川北遺跡02-4区　出土遺物

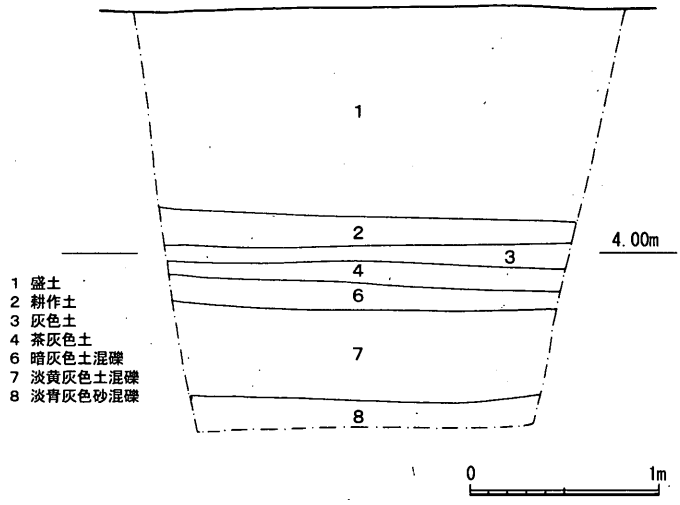
（４）02－5区

１．調査の概要(第２・６・13図)

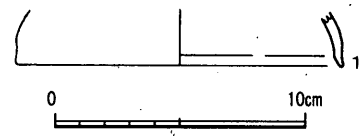
調査は、2.6m×1.2mのトレンチを設定して行なった。層序は、第３層、第４層までは、前述の基本的な層序の通りであるが、第５層は見られず、第４層の下には、流路の埋土である暗灰色土混礫、淡黄灰色土混礫、淡青灰色砂混礫が確認された。

本調査区においても、上記の流路以外の遺構は検出されなかった。

遺物は、第３層から陶器、須恵器等、第４層から陶器、須恵器等が出土している。また、暗灰色土混礫から土師器が出土している。



第13図　馬川北遺跡02-5区　トレンチ北側断面図



第14図　馬川北遺跡02-5区　出土遺物

２．遺物(第14図)

図化し得たのは、第４層から出土した須恵器坏蓋1点のみであった。

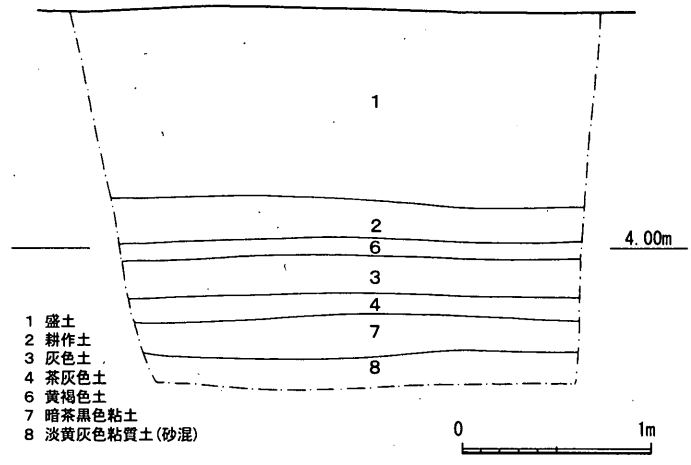
（５）02－6区

１．調査の概要(第２・６・15図)

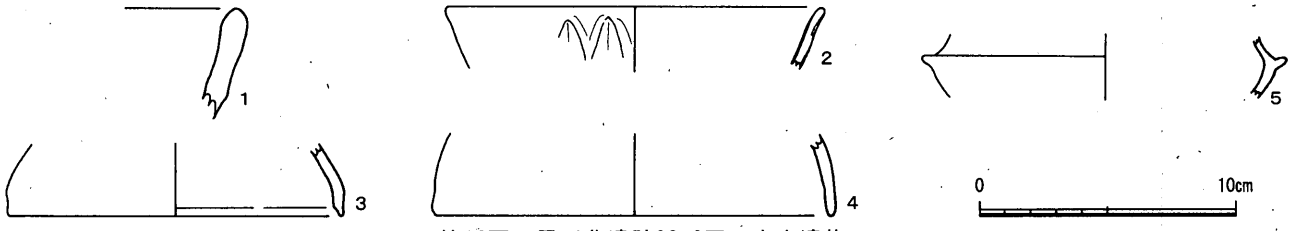
調査は、2.6m×1.3mのトレンチを設定して行なった。本調査区の層序は、第２層耕作土の下に黄褐色土が見られ、第３層、第４層と続き、その下からは、暗茶黒色粘土、淡黄灰色粘質土が確認された。

前述の02－2区他と同様、暗茶黒色粘土、淡黄灰色粘質土は、流路の埋土と思われる。

遺物は、黄褐色土及び第３・４層から瓦器や白土器の他、青磁、須恵器、瓦、製塩土器等が、暗茶黒色粘土から瓦器、須恵器等が出土している。



第15図　馬川北遺跡02-6区　トレンチ南側断面図



第16図　馬川北遺跡02-6区　出土遺物

2．遺物(第16図)

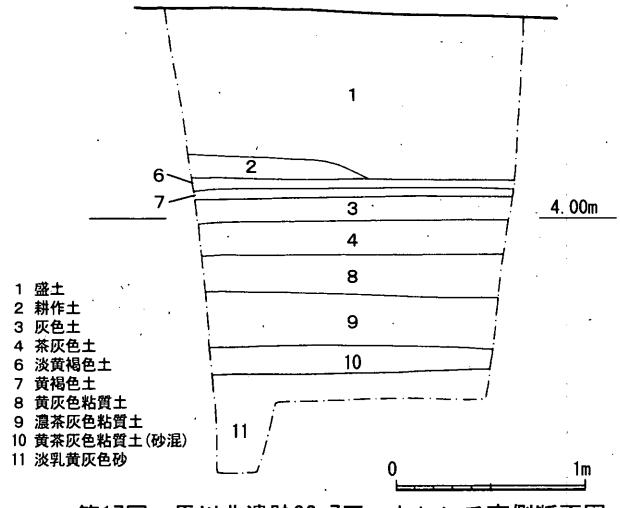
図化し得たのは、５点。１は製塩土器の口縁部。２は蓮弁文を有する青磁碗。以上2点は黄褐色土及び第３・４層から、以下の3点は暗茶黒色粘土から出土した。３及び４は須恵器坏蓋。５は同じく坏身。

（６）02－7区

１．調査の概要(第２・６・17図)

調査は、2.0m×1.2mのトレンチを設定して行なった。層序は、第２層と第３層との間に淡黄褐色土、黄褐色土が見られ、第４層の下に黄灰色粘質土、濃茶灰色粘質土、黄茶灰色粘質土、淡乳黄灰色砂が見られた。

前述の調査区同様、流路以外の遺構は検出されなかった。上述した黄灰色粘質土以下の層は、流路の埋土である。

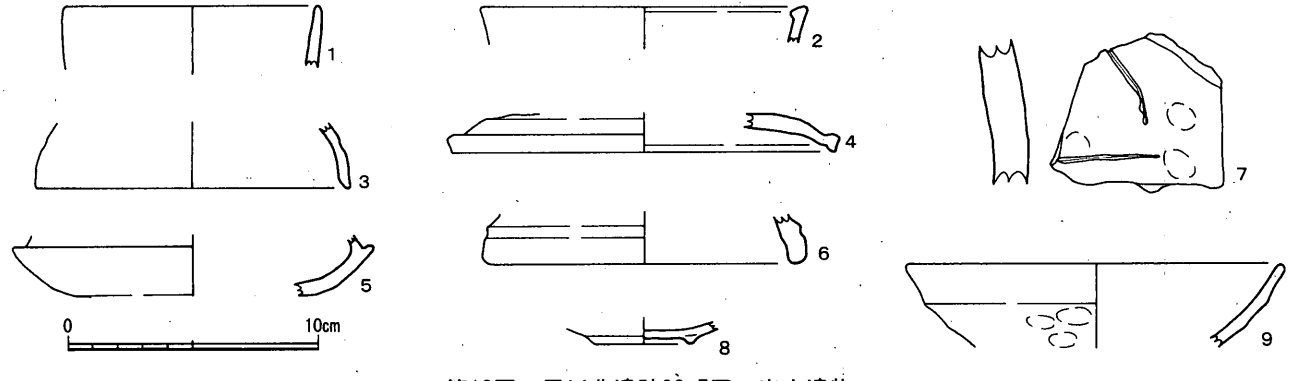


第17図　馬川北遺跡02-7区　トレンチ南側断面図

遺物は、淡黄褐色土から陶器、須恵器等、黄褐色土から瓦器、須恵器等、第３層から瓦器、土師質蛸壷、中世期の瓦等が、第４層から瓦器、須恵器等が出土した。

２．遺物(第18図)

図化したのは、以下の９点のみである。１、２はそれぞれ陶器の埦と鉢。ともに淡黄褐色土から出土した。３と４は須恵器坏蓋。５は同じく坏身。６は須恵器の高坏の脚部と思われる。７は土師質蛸壷の体部。ヘラ記号が見られる。８と９は瓦器埦。３～９は第３層から出土した。



第18図　馬川北遺跡02-7区　出土遺物

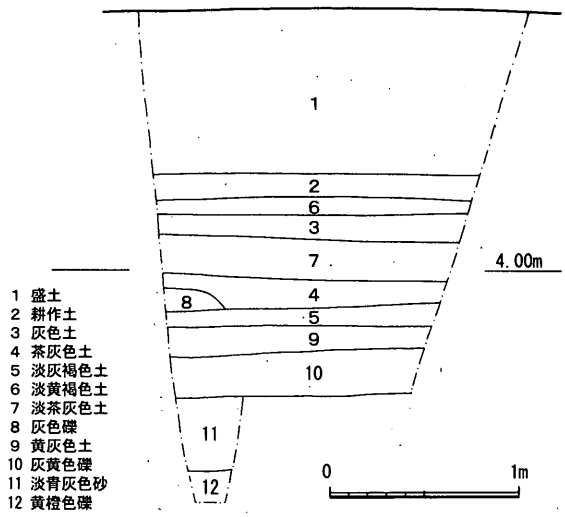
（7）02－8区

1．調査の概要(第２・６・19図)

調査は、2.0m×1.2mのトレンチを設定して行なった。

本調査区の盛土、耕作土以下の層序は、淡黄褐色土、第３層、淡茶灰色土、第４層、灰色礫、第５層、黄灰色土、灰黄色礫、淡青灰色砂、黄橙色礫であった。

本調査区においても流路以外の遺構は確認されなかった。上記の黄灰色土以下の層は流路の埋土である。



第19図　馬川北遺跡02-8区　トレンチ北側断面図

遺物は、淡黄褐色土から陶磁器等が、淡茶灰色土から土師質蛸壷、須恵器等が出土した。いずれも小片のため、図化し得なかった。

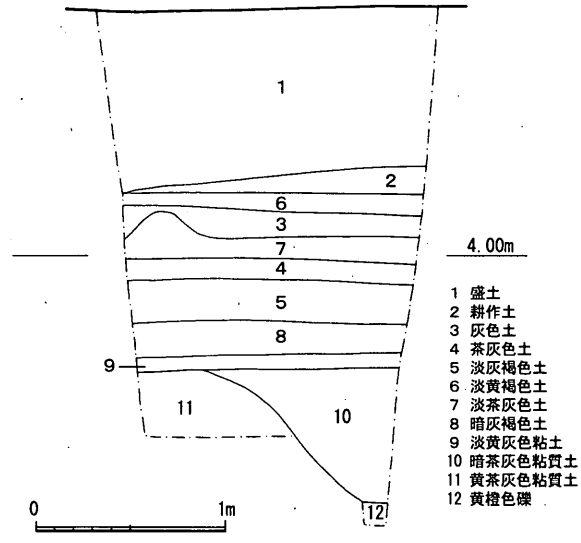
（8）02－9区

1．調査の概要(第２・６・20図)

調査は、2.0m×1.2mのトレンチを設定して行なった。近年の盛土及び耕作土以下の層序は、淡黄褐色土、第３層、淡茶灰色土、第４層、第５層、暗灰褐色土、淡黄灰色粘土、暗茶灰色粘質土、黄茶灰色粘質土、黄橙色礫であった。

流路以外の遺構は、確認されなかった。本調査区においても、第５層より下の暗灰褐色土以下の層は流路の埋土である。

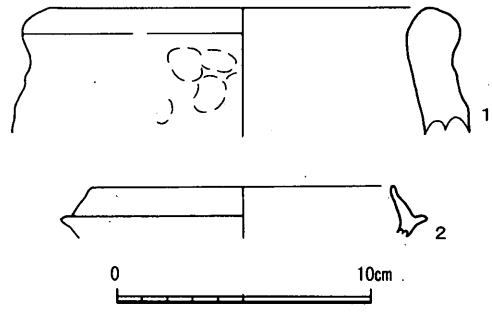
遺物は、第３層をはじめ、第４層や後述のように他の層から、須恵器や土師器等が出土している。



第20図　馬川北遺跡02-9区　トレンチ南側断面図

2．遺物(第21図)

図化したのは、２点。１は淡黄褐色土から出土した土師質蛸壷。２は須恵器坏身で、淡茶灰色土から出土した。



第21図　馬川北遺跡02-9区　出土遺物

第３節　馬川遺跡

（１）03－1区

１．調査の概要(第22～24図)

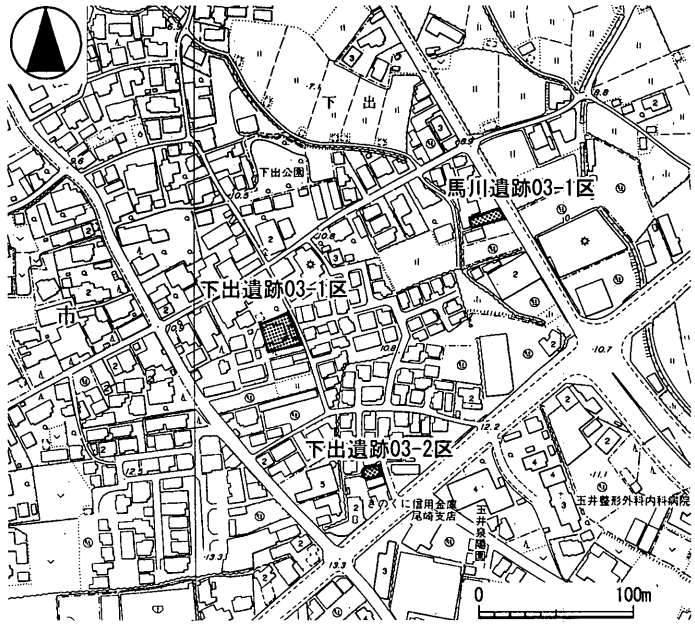
調査区は、馬川遺跡の南端部に位置する。男里川が形成した段丘の直下にあたる。

近年の周辺の調査から、中世以降に耕地化されたと想定されている場所にあたる。調査は、2.7m×1.3mのトレンチを設定して実施した。

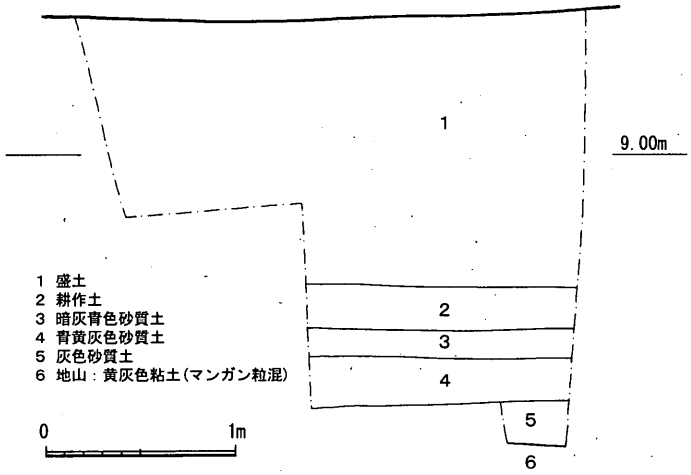
近年の盛土、耕作土以下の基本層序は、第３層暗灰青色砂質土、第４層青黄灰色砂質土、第５層灰色砂質土、第６層黄灰色粘土（地山）であった。

遺構は確認されなかった。

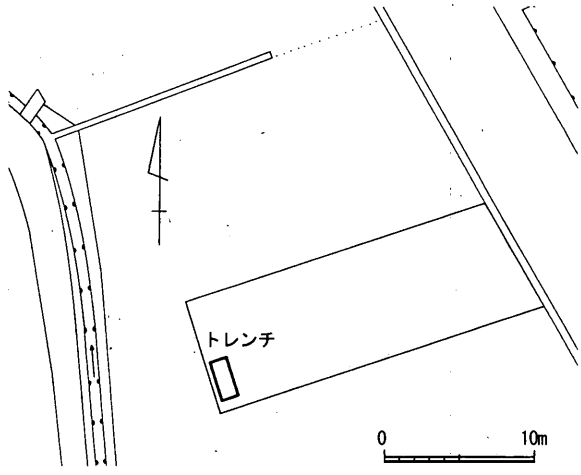
遺物は、第３層から瓦器、白土器、須恵器等が、第4層から瓦器、製塩土器、中世期の瓦等が出土した。



第22図　馬川遺跡・下出遺跡調査区位置図



第24図　馬川遺跡03-1区　トレンチ西側断面図



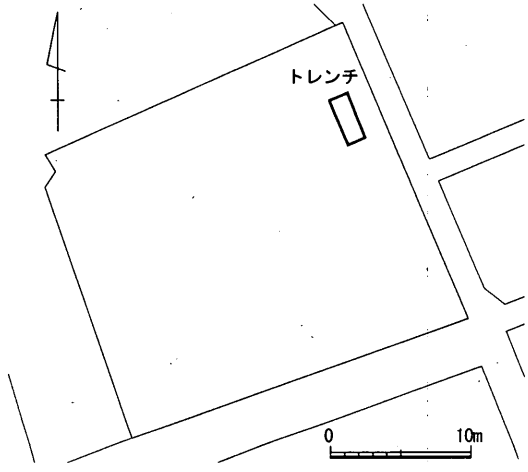
第23図　馬川遺跡03-1区　トレンチ位置図

第４節　下出遺跡

（１）03－1区

１．調査の概要(第22・25・26図)

調査区は、下出遺跡の北部に位置する。調査区内に3.3m×1.3mのトレンチを設定し、調査を



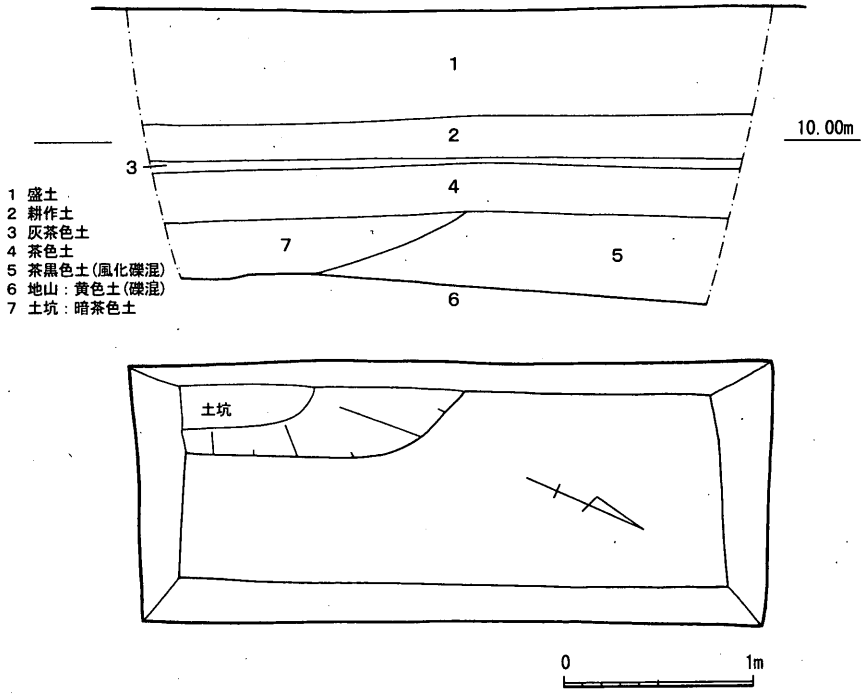
第25図　下出遺跡03-1区　トレンチ位置図

実施した。

基本層序は、第１層盛土、第２層耕作土、第３層灰茶色土、第４層茶色土、第５層茶黒色土、第６層黄色土（地山）であった。

遺構は、第５層上面で土坑を１検出した。

遺物は、第４層から陶磁器等、第５層から瓦質土器、土師質蛸壷、瓦等が出土した。

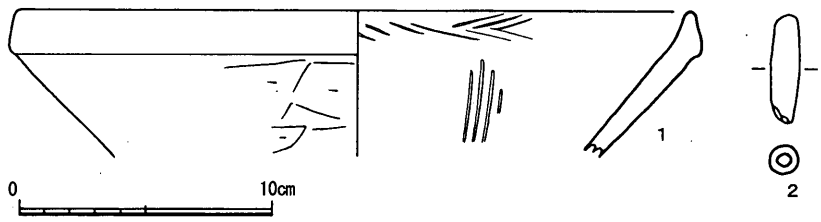


第26図　下出遺跡03-1区　トレンチ平面図・断面図

２．遺構(第26図)

－土坑－

調査トレンチ南端部の第５層上面で検出した。南北1.5m以上、東西35cm以上の規模である。埋土は暗茶色土であった。遺物は出土していないが、埋土上に近世期と考えられる第４層が堆積していることから、近世以前の時期のものであろう。



第27図　下出遺跡03-1区　出土遺物

３．遺物(第27図)

図化したのは、以下の２点である。１は瓦質土器の擂鉢である。２は土師質の管状土錘である。いずれも第５層から出土した。

（２）03－２区

１．調査の概要(第22・28・29図)

調査区は、下出遺跡の東端部に位置する。調査区内に2.1m×1.4mのトレンチを４ヵ所設定して実施した。

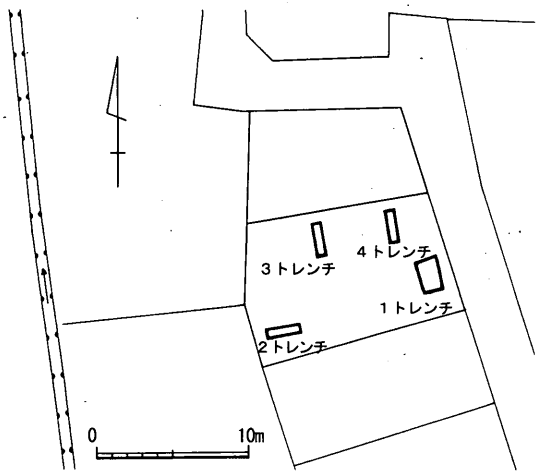
近年の盛土、耕作土以下の基本層序は、第３層茶灰色砂質土、第４層暗黄茶灰色土、第５層暗茶灰色土、第６層明黄色粘土（地山）であった。

遺構は検出されなかった。

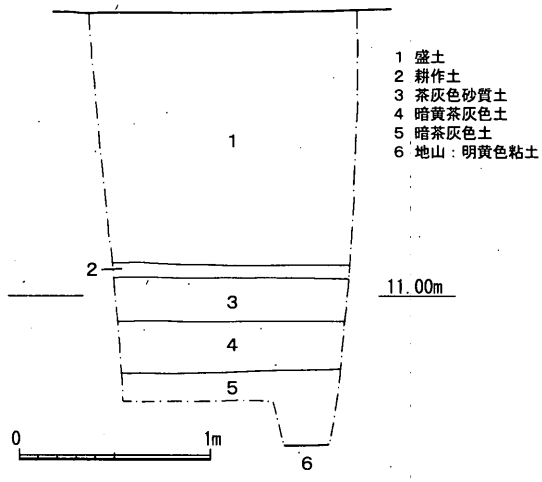
遺物は、第３層から陶磁器等、第４層から瓦器、土師質土器等が、第５層から瓦器が出土した。

２．遺物（第30図）

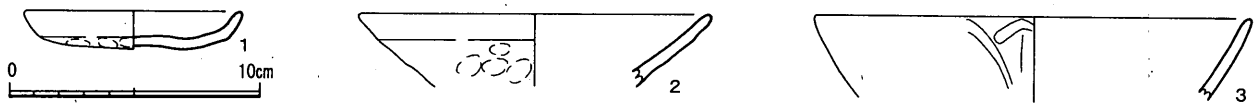
出土遺物のほとんどが小片であったため、図化し得たのは、以下の３点のみであった。１は土師質土器の小皿。２は瓦器椀。３は蓮弁文を有する青磁の碗。いずれも第３層から出土した。



第28図　下出遺跡03-2区　トレンチ位置図



第29図　下出遺跡03-2区　１トレンチ南側断面図



第30図　下出遺跡03-2区　出土遺物

第５節　黒田南遺跡

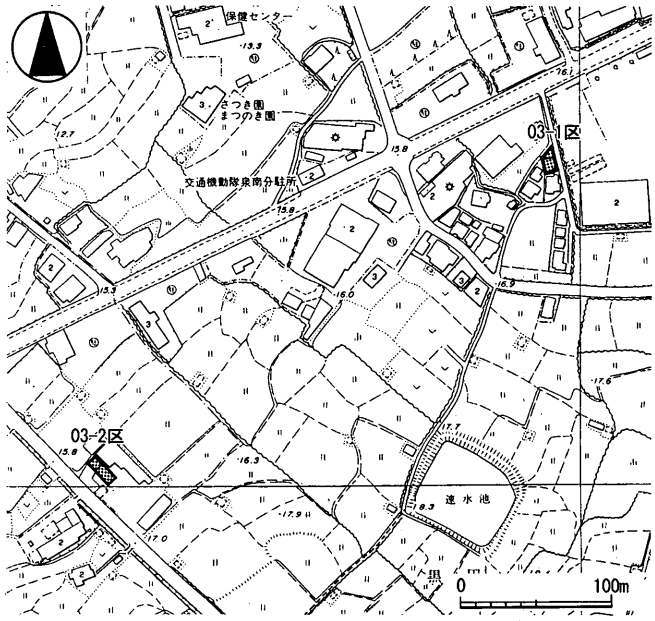
（１）03－1区

１．調査の概要（第31～33図）

調査区は黒田南遺跡の東端部に位置する。調査は、調査区内に2.0m×1.8mのトレンチを設定して行なった。

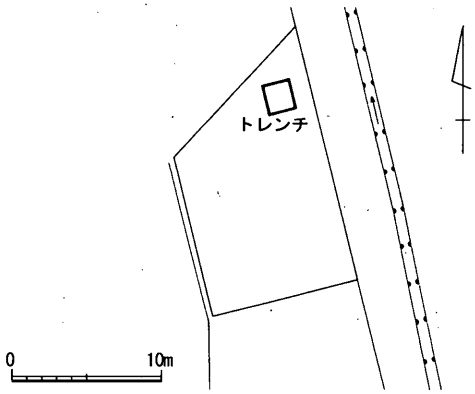
近年の盛土、耕作土以下の基本層序は、第３層明茶灰色粘質土、第４層淡黄灰色粘質土、第５層淡茶黄灰色粘質土、第６層淡灰黄色粘質土（地山）の順であった。

遺構は検出されなかった。

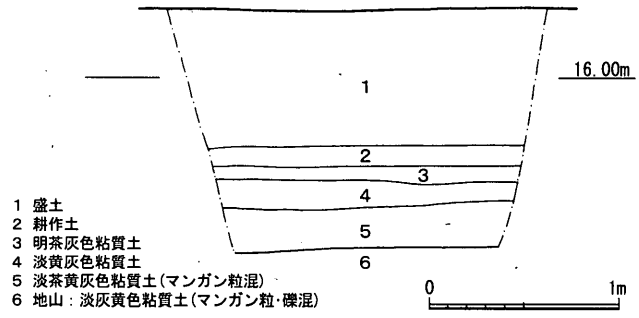


第31図　黒田南遺跡　調査区位置図

遺物は、第４層及び第５層から瓦器、土師質土器、白磁等が出土した。出土遺物はいずれも小片のため、図化していない。



第32図　黒田南遺跡03-1区　トレンチ位置図



第33図　黒田南遺跡03-1区　トレンチ西側断面図

（２）03－2区

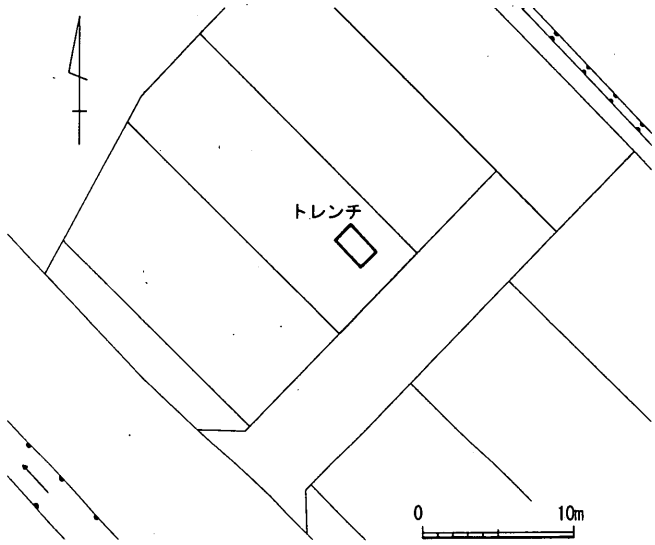
１．調査の概要(第31・34・35図)

調査区は黒田南遺跡の西南端部に位置し、神光寺（蓮池）遺跡に近接する。調査は、調査区内に2.4m×1.5mのトレンチを設定して行なった。

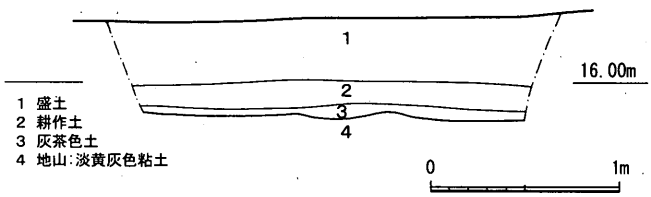
近年の盛土、耕作土以下の基本層序は、第３層灰茶色土、第４層淡黄灰色粘土（地山）であった。

遺構は検出されなかった。

遺物は、第３層から須恵器、土師器、瓦器が出土した。いずれも小片のため図化し得なかった。



第34図　黒田南遺跡03-2区　トレンチ位置図



第35図　黒田南遺跡03-2区　トレンチ西側断面図

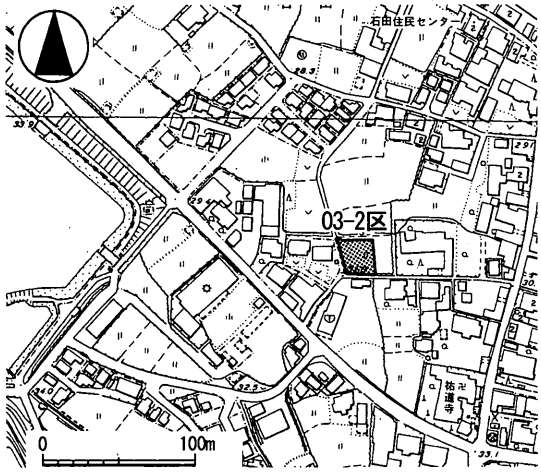
第６節　神光寺（蓮池）遺跡

（１）03－2区

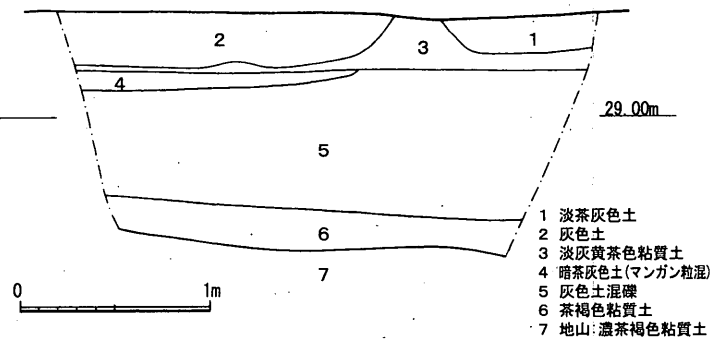
１．調査の概要(第36～38図)

調査区は、神光寺（蓮池）遺跡の中央南側に位置する。調査は、調査区内に2.8m×2.0mのトレンチを設定して行なった。

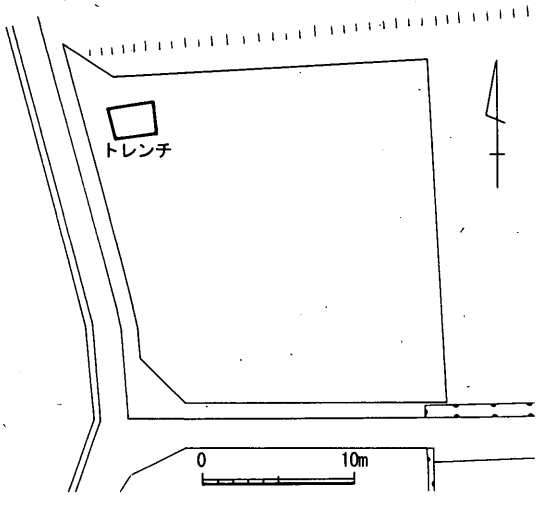
基本層序は、第１層淡茶灰色土、第２層灰色土、第３層淡灰黄茶色粘質土、第４層暗茶灰色土、第５層灰色土混礫、第６層茶褐色粘質土、第７層濃茶褐色粘質土（地山）であった。



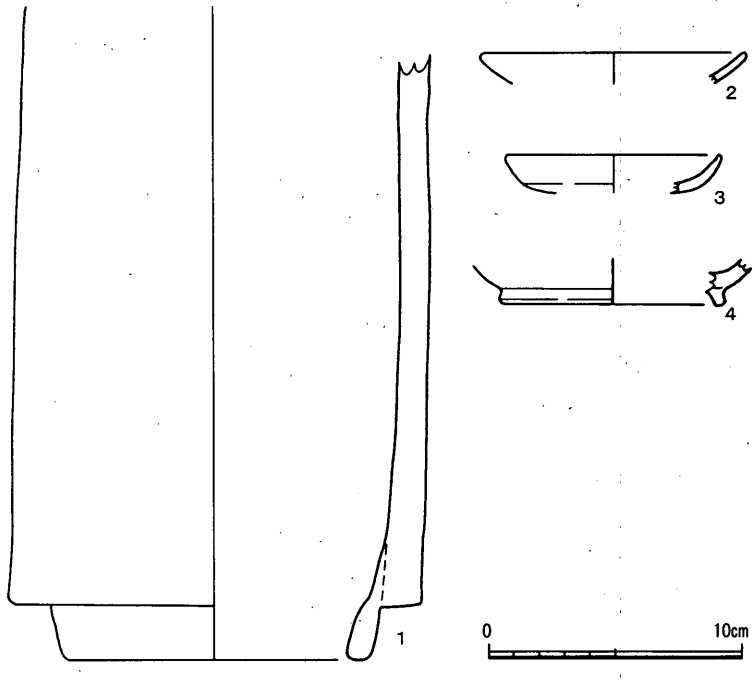
第36図　神光寺(蓮池)遺跡調査区位置図



第38図　神光寺(蓮池)遺跡03-２区　トレンチ南側断面図



第37図　神光寺(蓮池)遺跡03-2区　トレンチ位置図



第39図　神光寺(蓮池)遺跡03-2区　出土遺物

遺構は検出されなかったが、上述の堆積土の状況から第５層及び第６層は、流路の埋土と考えられる。

遺物は、第２層から近世期の瓦、土管等が、第４層から瓦器、白土器、黒色土器、土師質蛸壷、陶磁器等が出土した。

２．遺物(第39図)

出土遺物のうち、以下４点について図化した。１は第２層から出土した土師質の土管である。内面にハナレ砂が見られる。２は磁器の小皿。３は白土器の小皿。以上２点は第４層から出土した。４は須恵器坏身高台部である。

第７節　向出遺跡

（１）03－1区

１．調査の概要(第40～42図)

調査区は向出遺跡の南部に位置する。1998年度に大規模な縄文時代の土坑墓群が確認された台地のほぼ中央部にあたる。調査は、2.2m×1.0mのトレンチを設定して実施した。

近年の盛土、耕作土以下の基本層序は、第３層淡茶灰色砂質土、第４層濃茶灰色風化礫混土（地山）であった。

遺構は、確認されなかった。

遺物は、第３層から土師質土器等が出土した。遺物はいずれも小片のため図化し得なかった。

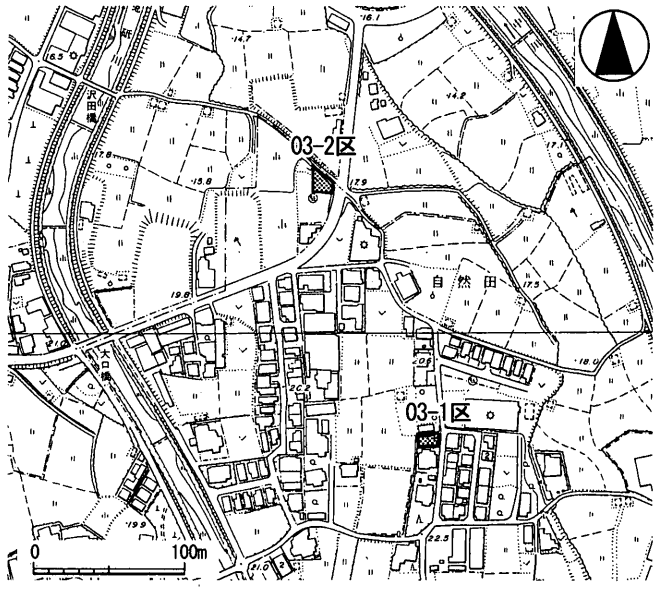
（２）03－2区

１．調査の概要(第40・43図)

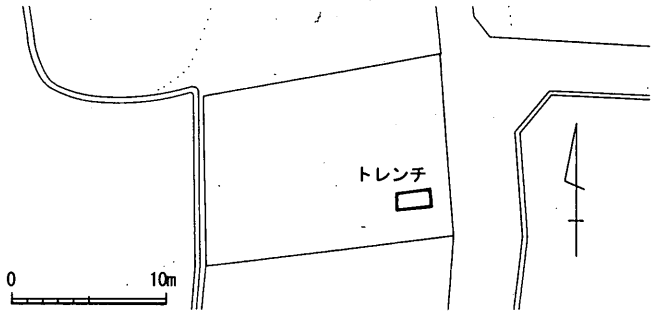
調査区は、向出遺跡のほぼ中央部に位置する。上述した土坑墓群が確認された台地の北端部にあたる。

調査は、調査区内に3.2m×1.5mのトレンチを設定して実施した。

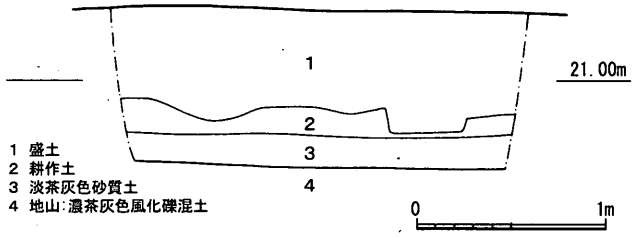
土木工事によって影響を受けるレベルまで掘削を行ったが、全て近年の盛土であった。



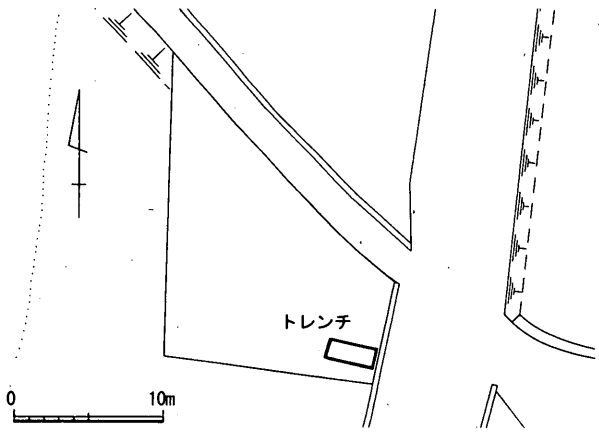
第40図　向出遺跡調査区位置図



第41図　向出遺跡03-1区　トレンチ位置図



第42図　向出遺跡03-1区　トレンチ北側断面図



第43図　向出遺跡03-2区　トレンチ位置図

第８節　高田遺跡

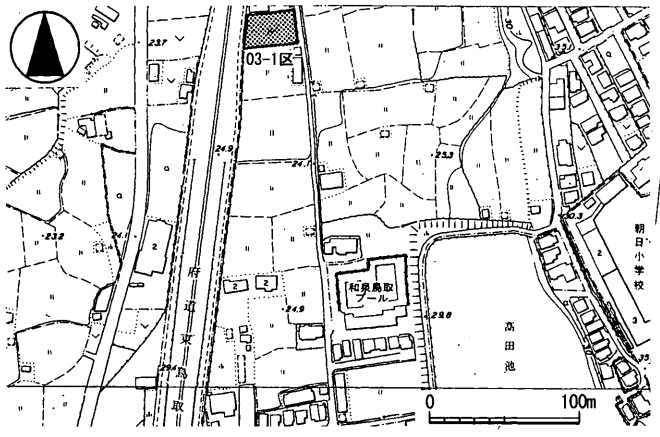
（１）03－1区

１.調査の概要(第44・45図)

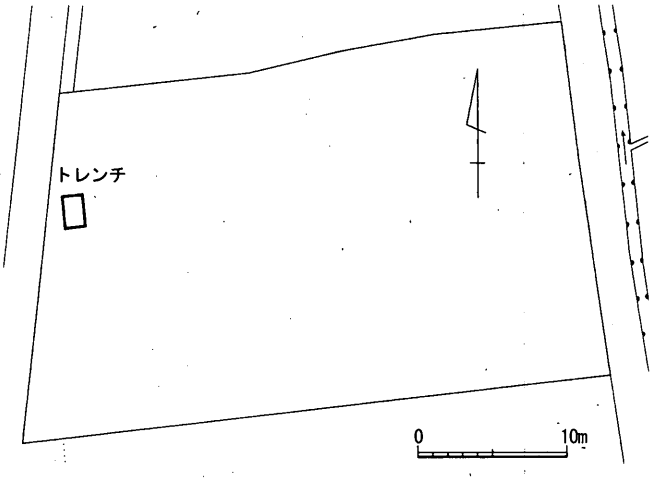
調査区は高田遺跡のほぼ中央部に位置する。

調査は、調査区内に2.2m×1.4mのトレンチを設定して実施した。

土木工事により影響がおよぶレベルまで掘削を行ったが、すべて近年の盛土であった。近接地における既往の調査では、今回掘削した同じレベルで、遺物包含層が確認されており、すでに近年の工事等により削平されていたと考えられる。



第44図　高田遺跡調査区位置図



第45図　高田遺跡03-1区　トレンチ位置図

第９節　和泉鳥取遺跡

（１）03－1区

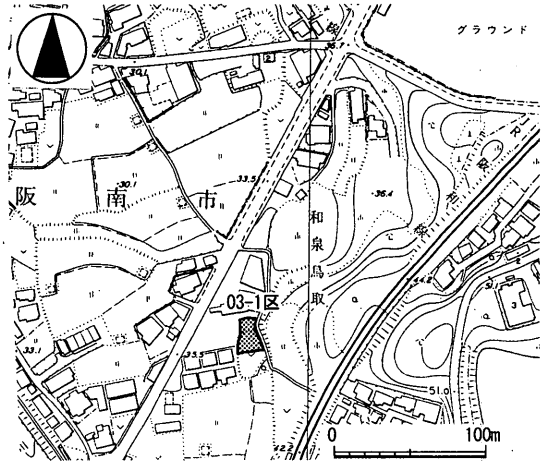
１．調査の概要(第46～48図)

調査区は、和泉鳥取遺跡の南端部に位置する。

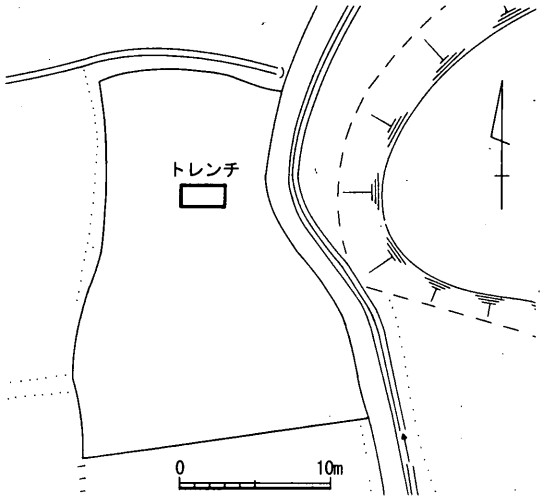
調査区内に3.0m×1.5mのトレンチを設定して調査を実施した。

耕作土以下の基本層序は、第２層明橙色土、第３層暗橙色砂質土、第４層灰青色粘土、第５層暗灰茶色粘土（地山）であった。

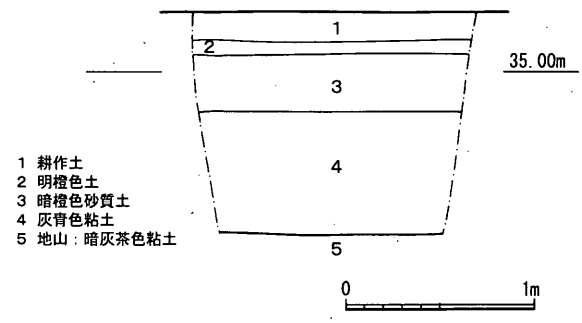
遺構、遺物ともに検出されなかった。



第46図　和泉鳥取遺跡調査区位置図



第47図　和泉鳥取遺跡03-1区　トレンチ位置図



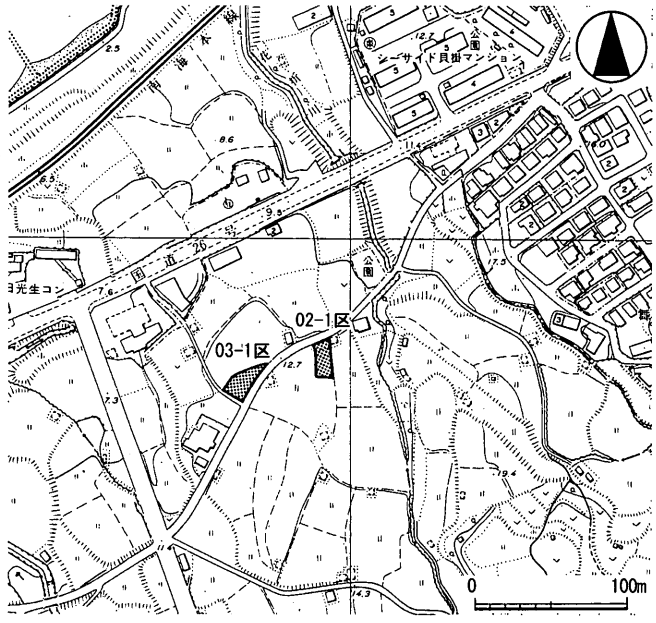
第48図　和泉鳥取遺跡03-1区　トレンチ東側断面図

第10節　貝掛遺跡

（１）02－1区

１．調査の概要（第49～51図）

調査区は、貝掛遺跡の西部に位置する。釈迦坊川と花折川との間の段丘上に位置する。この釈迦坊川右岸段丘上では、既往の調査で縄文時代から近世期にかかけて様々な遺物が出土しており、古代期の建物跡等も検出されている。8.0m×12.0mの調査区を設定し、そのうちから土木工事によって影響を受ける周囲及び中央部分を幅１mで調査を行なった。



第49図　貝掛遺跡調査区位置図

耕作土以下の基本的な層序は、第２層褐茶灰色砂質土、第３層茶灰黄色土、第４層黄茶灰色土、第５層灰黄色粘土（地山）であった。

遺構は、建物を１、土坑を１、溝を２、落ち込みを１、ピットを１検出した。遺物は、第２層から瓦質土器、土師質管状土錘等が、第３層から瓦器、須恵器、製塩土器、土師質蛸壷等が出土している。

２．遺構（第51図）

遺構は後述の通り、奈良時代のものであったが、堆積土層の状況から、これらの遺構は、すべて同時期のものではなく、溝や土坑、落ち込みは、建物に若干先行する時期のものであると考えられる。

－建物１－

調査区中央で検出した。東西３間以上×南北１間以上の掘立柱建物。柱穴の埋土から土師器、須恵器が出土しており、奈良時代のものと思われる。この建物は検出された柱穴を中心として、西及び北方向に拡がる総柱建物であった可能性が考えられる。

－土坑１－

調査区北東部で検出した。東西90cm以上、南北3.6m以上、深さ30cm以上を呈する。埋土は、暗灰茶色砂質土で、埋土中から土師器、須恵器が出土している。奈良時代と思われる。

－溝１－

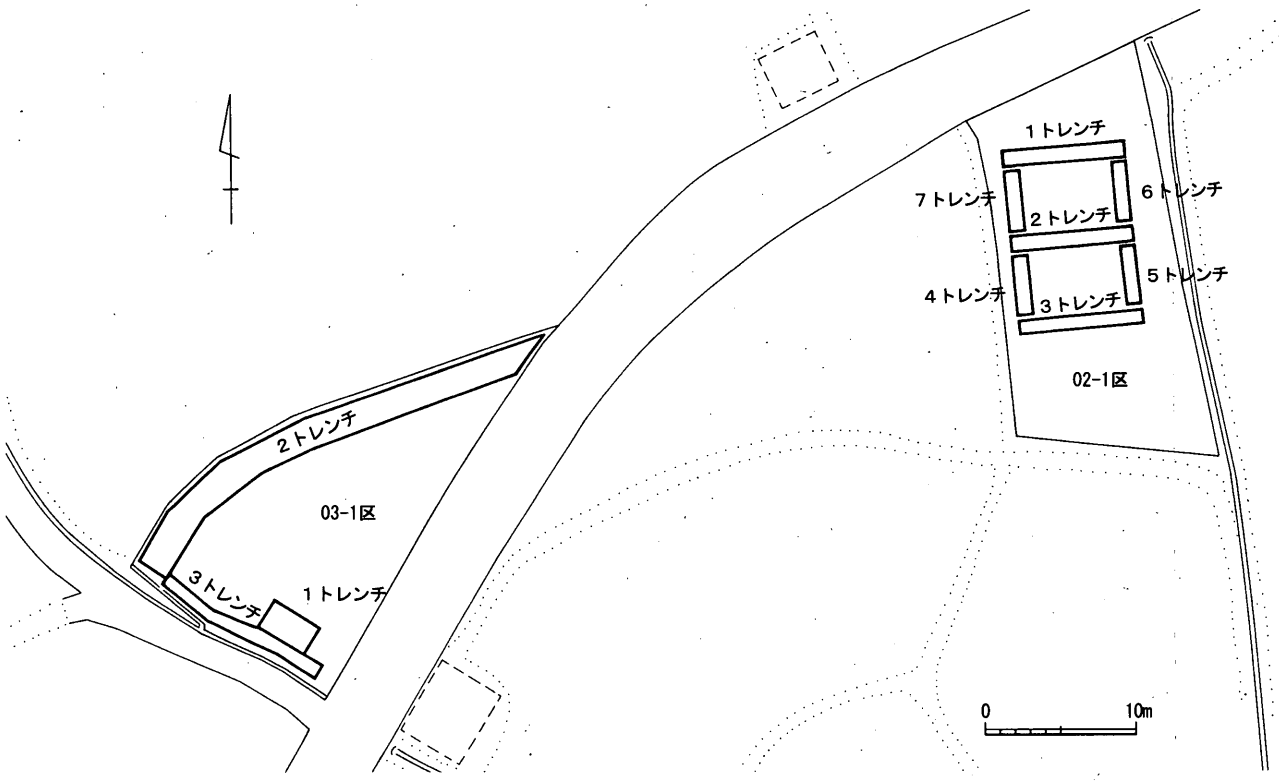
調査区の東端部で確認された。南北方向に延びる溝。幅約90cm以上、深さ約35cmを呈する。埋土は、暗灰茶色砂質土、淡黄灰色砂質土であった。埋土中から須恵器、土師器が出土している。奈良時代のものと思われる。

－溝２－

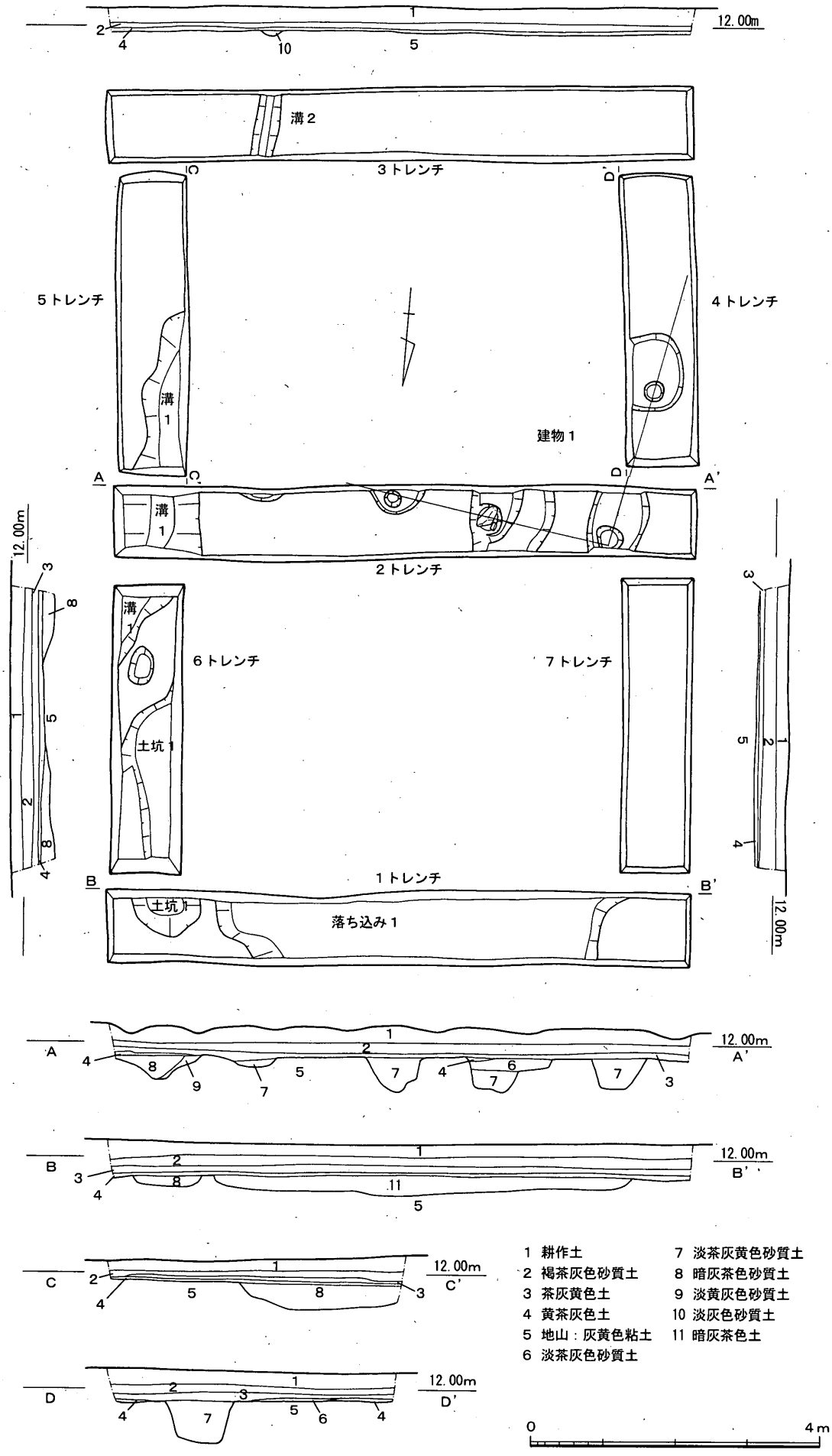
調査区南東部で検出した。南北方向に流れる。幅約35cm、深さ約10cmを呈する。埋土は淡灰色砂質土で、埋土中から土師器、須恵器が出土しており、時代は奈良時代のものと思われる。

－落ち込み１－

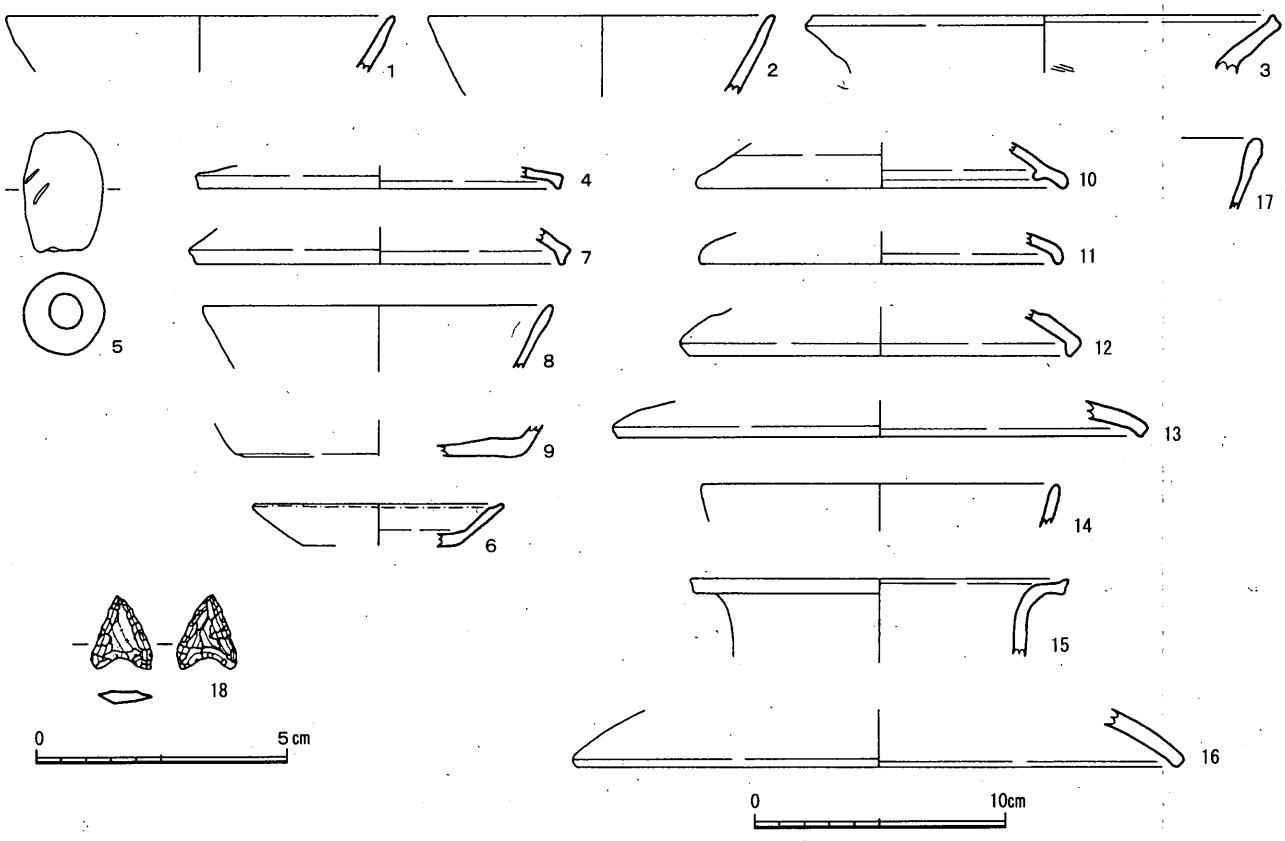
調査区北部で検出した。埋土は暗灰茶色土であった。埋土中から後述する須恵器坏身や土師器が出土している。奈良時代のものと思われる。



第50図　貝掛遺跡02-1区・03-1区　トレンチ位置図



第51図　貝掛遺跡02-1区　トレンチ平面図・断面図



第52図　貝掛遺跡02-1区　出土遺物

2．遺物(第52図)

図示した遺物は、下記の通り18点であった。１～３は遺構から、４は第１層から、５～９は第２層から、10～17は第３層から、18は調査区内から出土した。１は須恵器の坏身。建物の柱穴から出土した。２も同じく須恵器の坏身。落ち込み１から出土した。３は土師器甕の口縁部。溝２から出土した。４は須恵器坏蓋。５は土師質管状土錘。６は白磁皿。７～15は須恵器。７、10～13は坏蓋。８、９、14は坏身。15は壷。16は土師器の蓋。17は製塩土器。18はサヌカイトの石鏃。

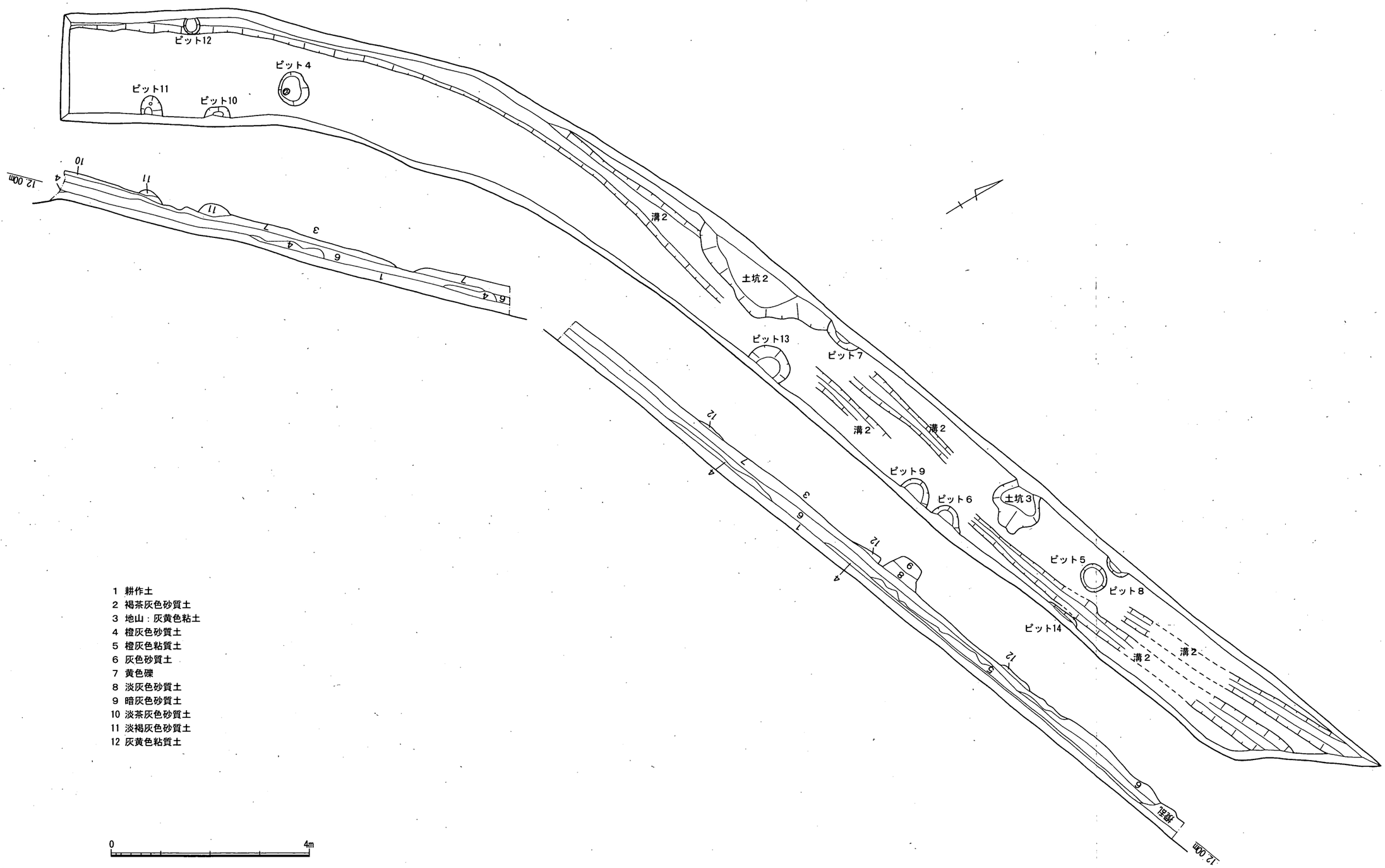
（２）03－1区

1．調査の概要(第49・50・53・54図)

調査区は、貝掛遺跡の西部、釈迦坊川が形成した右岸段丘上に位置する。本調査区の約70m北西には、飛鳥時代の建物跡等が確認され、奈良三彩が出土した89－1区と呼ぶ調査区がある。

調査区内に3.5m×2.0m（１トレンチ）、31.0m×2.0m（２トレンチ）、11.0m×1.0m（３トレンチ）の３ヵ所のトレンチを設定して調査を実施した。

耕作土以下の基本層序は、第２層褐茶灰色砂質土、第３層灰黄色粘土(地山）であった。しかし、水田を拡張するためか、２トレンチ及び３トレンチ北端部では近世期に第２層を削平して、橙灰色砂質土、橙灰色粘質土、灰色砂質土、黄色礫の層の堆積がみられた。



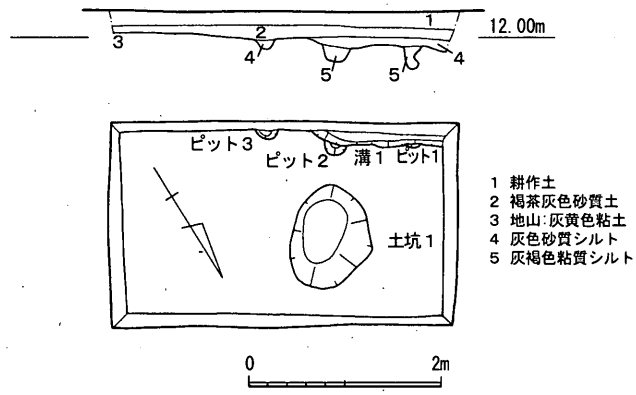
1 耕作土
2 褐茶灰色砂質土
3 地山：灰黄色粘土
4 橙灰色砂質土
5 橙灰色粘質土
6 灰色砂質土
7 黄色礫
8 淡灰色砂質土
9 暗灰色砂質土
10 淡茶灰色砂質土
11 淡褐灰色砂質土
12 灰黄色粘質土

0 4m

第54図　貝掛遺跡03-1区　２トレンチ平面図・断面図

遺構は、第３層上面で溝を２、土坑を３、ピットを14検出した。

遺物は、土坑のそれぞれから土師器、須恵器等が、溝から磁器等をはじめ、いくつかのピットからも製塩土器、須恵器等が出土している。また、第２層から瓦器、須恵器等が出土している。



第53図　貝掛遺跡03-1区　1トレンチ平面図・断面図

２．遺構

１トレンチ(第53図)

－土坑１－

トレンチ中央部の第３層上面で検出した。長径約1.1m、短径約85cm、検出面からの深さ約50cmを呈する。埋土は淡褐灰色砂質土であった。遺物は土師器、須恵器が出土している。出土した遺物から中世期以前－概ね平安時代頃－のものと考えられる。

－溝１－

トレンチ南西部で検出した。南東から北西方向に延びる。幅15ｃｍ以上、検出面からの深さ10ｃｍ。ピット１・２を切っている。埋土は灰色砂質シルトであった。埋土中から須恵器、白土器、瓦器が出土している。出土した遺物から中世期のものと考えられる。遺構全体が検出されていないため、土坑の可能性もある。

－ピット１・２－

ともにトレンチ南西端部、第３層上面で検出した。埋土は灰褐色粘質シルトであった。遺物は出土しなかったが、埋土の堆積状況から中世期以前のものと考えられる。なお、上述の溝１に切られており、中世期の溝１に若干先行する時代のものである。

－ピット３－

トレンチの南端部、第３層上面で検出した。埋土は灰色砂質シルトであった。遺物は出土しなかったが、堆積状況から中世期のものと考えられる。

２トレンチ(第54図)

－土坑２－

トレンチ中央部の第３層上面で検出した。東西3.2m以上、南北1.0m以上、検出面からの深さ30cmを呈する。埋土は暗灰色砂質土であった。遺物は、後述の須恵器坏身・坏蓋、釣鐘形の真蛸壷、土師器、製塩土器等が出土している。飛鳥時代の遺構であると考えられる。

－土坑３－

トレンチの東部、第３層上面で検出した。南北1.0m以上、東西約1.0m、検出面からの深さ70cmを呈する。埋土は淡灰色砂質土と暗灰色砂質土であった。遺物は土師器、製塩土器等が出土した。出土した遺物から飛鳥時代のものと考えられる。

－溝２－

第３層上面で検出した。幅約40cm、検出面からの深さ約10cmを呈する。東西方向に延びている。トレンチの東部で２本に分かれている。埋土は褐灰色砂質土であった。埋土から磁器等が出土しており、近世期のものと考えられる。

－ピット４・10～12－

いずれもトレンチ西部の第３層上面で検出した。埋土は淡褐灰色砂質土であった。遺物は須恵器、土師器、製塩土器が出土している。出土した遺物や埋土の状況から奈良時代のものと考えられる。

－ピット５・６－

トレンチ中央部から東部の第３層上面で検出した。埋土はいずれも淡灰色砂質土と暗灰色砂質土であった。埋土中から土師器が出土している。埋土が上述の土坑３と同じであり、出土遺物からも土坑３と同時期－飛鳥時代－のものと考えられる。

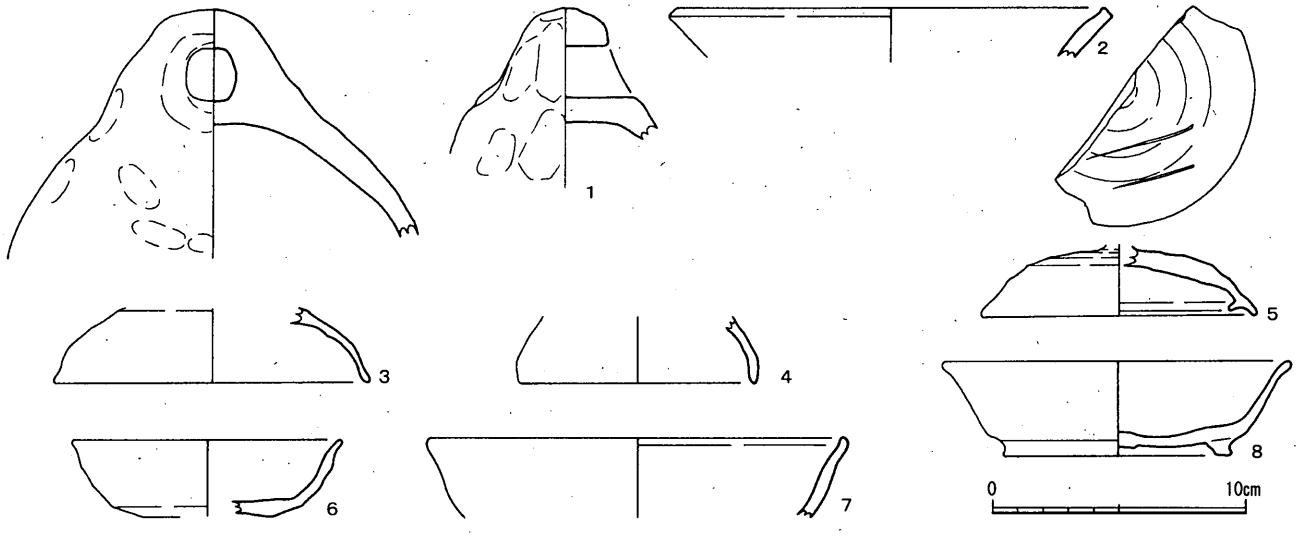
－ピット７～９・13・14－

トレンチ中央から東部の第３層上面で検出した。埋土は灰黄色粘質土であった。出土遺物や埋土の状況から奈良時代のものと考えられる。

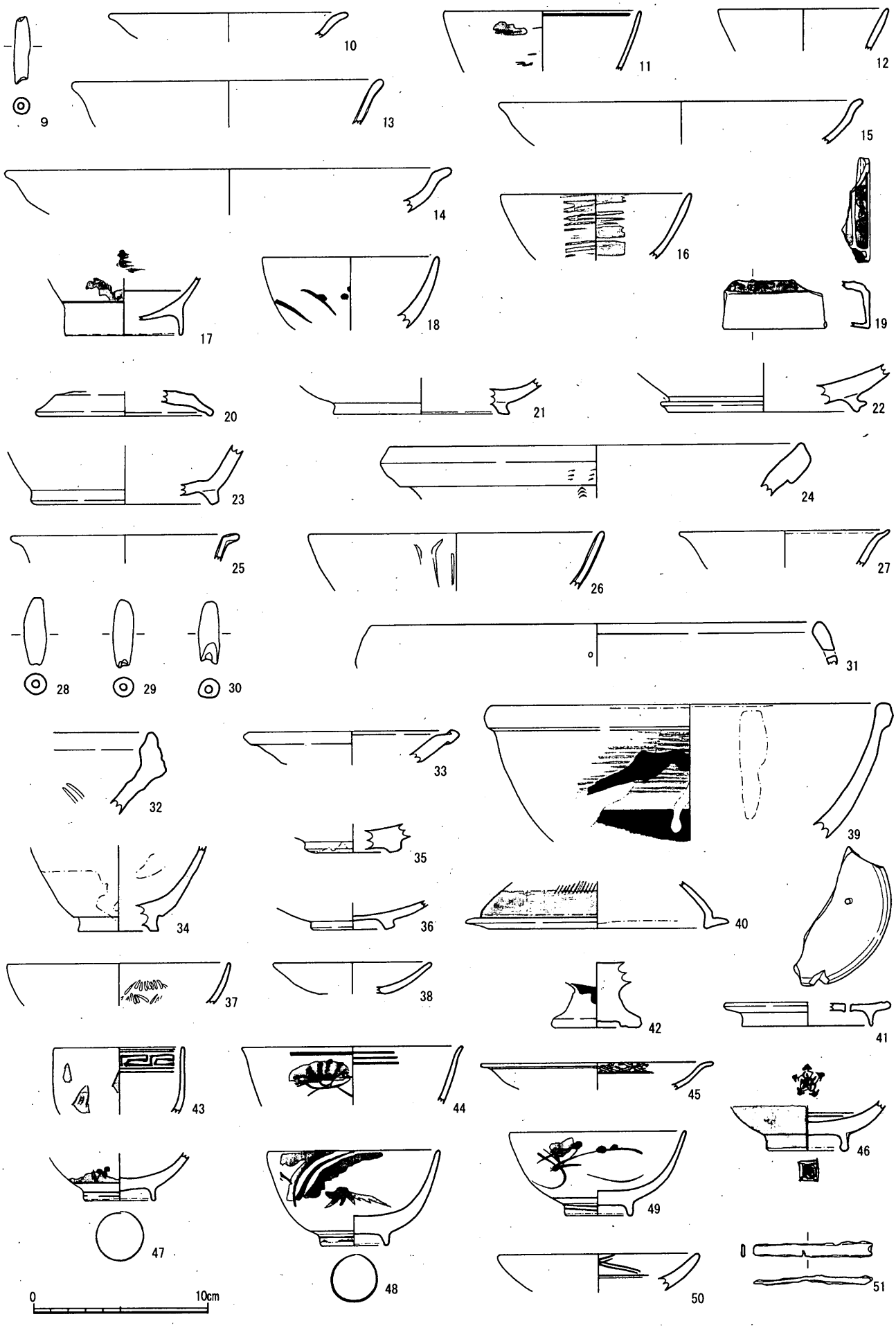
３．遺物(第55～57図)

１～６は上述の２トレンチで検出された土坑２から出土した。１は土師質の蛸壺。いわゆる釣鐘型で真蛸捕獲用のものである。２は土師器甕の口縁部。３～５は須恵器坏蓋。５にはヘラで刻まれた記号が見られる。６は須恵器坏身。７は土坑３から出土した土師器坏。８は須恵器の坏身で溝１から出土したが、この遺構は近世期のものであり、後世の流れ込みである。

９～11は第１層から採取した。９は土師質管状土錘。10は白磁皿。11は染付けの碗で、伊万里と思われる。12は第２層から出土した、須恵器坏身。13～19は、橙灰色砂質土、橙灰色粘質土から出土した。13及び14は、ともに青磁で、13は碗。14は盤。

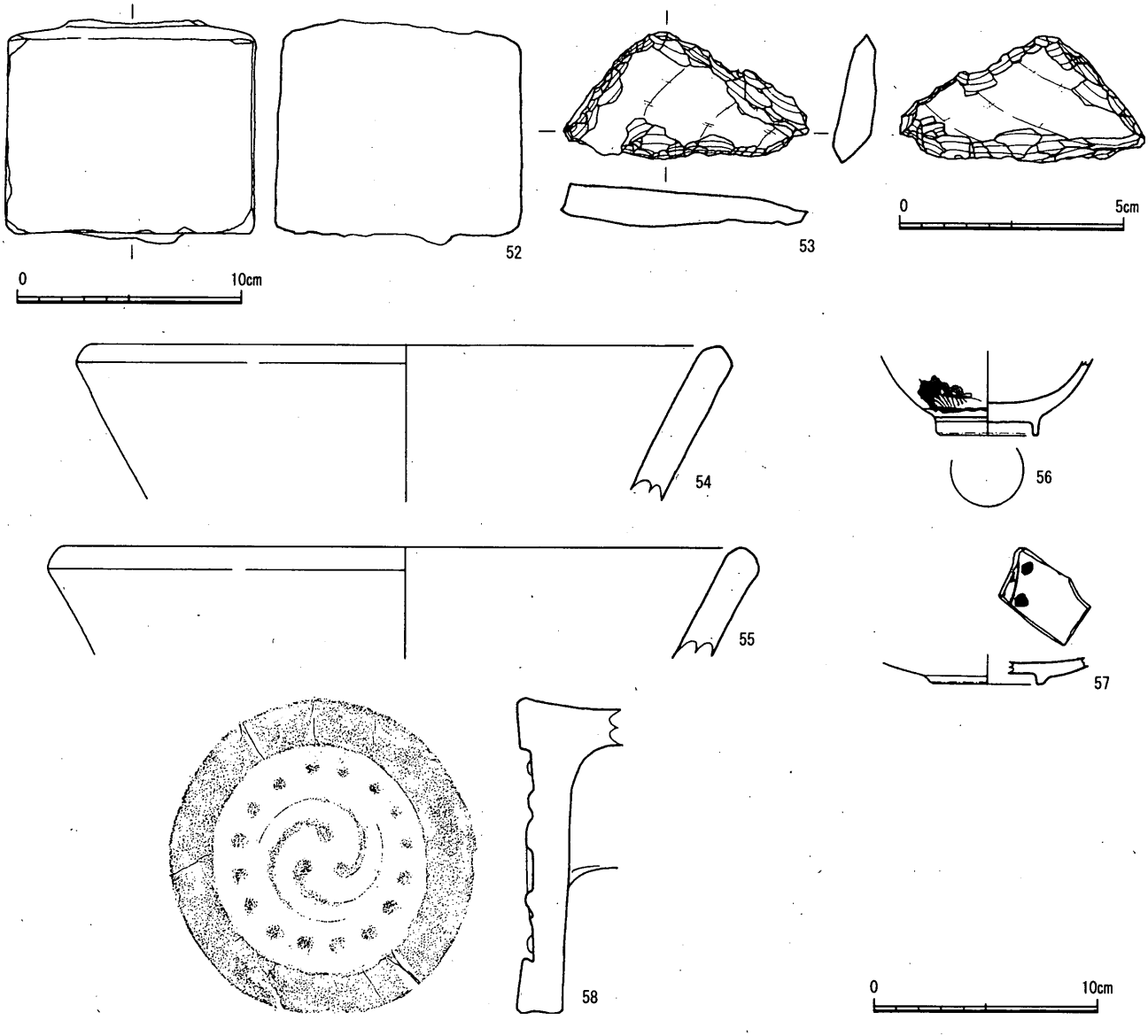


第55図　貝掛遺跡03-1区　出土遺物



第56図　貝掛遺跡03-1区　出土遺物

15及び16は陶器で、15は肥前の皿。16は唐津の碗。17～19は染付け。うち、17は伊万里の広東碗。18は波佐見の碗。19は伊万里の水滴と思われる。20～52は灰色砂質土から出土した。20～24は須恵器で、20は坏蓋。21～23は坏身。24は甕。25～27は舶載陶磁器。前２点は青磁碗。残１点は白磁碗。28～30は土師質管状土錘。31は土師質炮烙。32～42は陶器で、32は備前の擂鉢。33は瀬戸の皿。34～36はいずれも碗。うち34は唐津。36は褐釉。37及び38は肥前系の碗と皿。39は唐津の鉢。40及び41は蓋。42は仏飯器。43～50は磁器で、43～45は伊万里。43は湯呑み。44は碗。45は皿。46～49は波佐見の碗。46はいわゆる波佐見青磁で、50は波佐見の皿。51は刀子。52は五輪塔の地輪部。53～58は黄色礫から出土した。53はサヌカイト。スクレイパーの可能性がある。54及び55は土師質土器で、製糖用の漏斗。56及び57は染付け。58は軒丸瓦。



第57図　貝掛遺跡03-1区　出土遺物

第11節　田山東遺跡

（１）03－1区

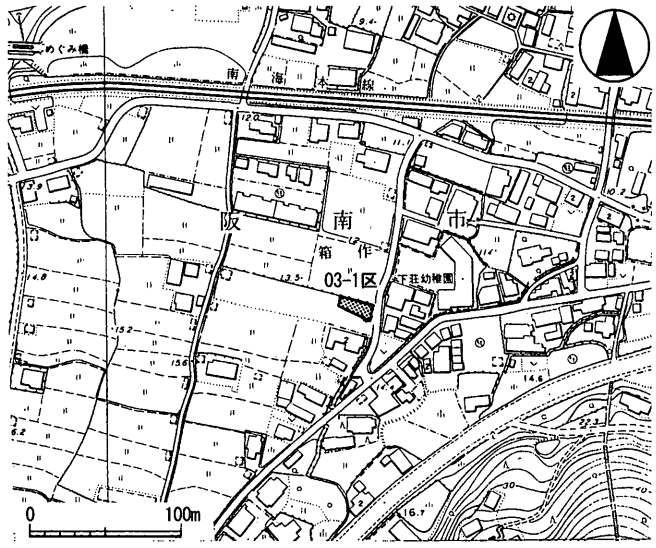
１．調査の概要(第58～60図)

調査区は、田山東遺跡の南部、田山遺跡に近接する場所に位置する。調査は、調査区内に4.8m×1.8mのトレンチを設定して行なった。

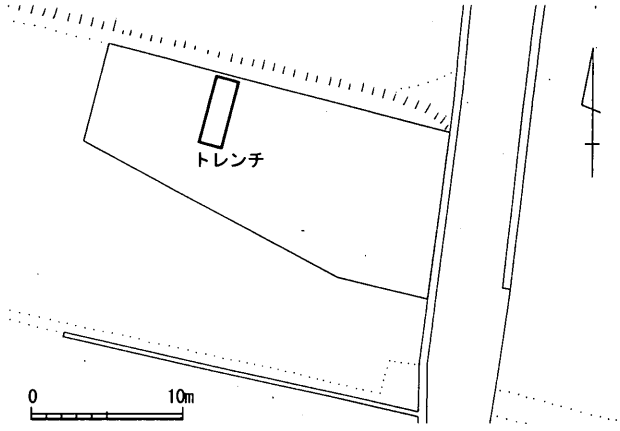
近年の盛土以下の基本層序は、第２層暗灰茶色土、第３層褐灰黄色土、第４層灰茶色砂質土、第５層明黄灰色土、第６層黄灰色土（地山）の順であった。

遺構は検出されなかった。

遺物は、第２～４層から瓦器をはじめ土師質土器（管状土錘、蛸壷等）、須恵質土器、青磁、白土器等が出土している。



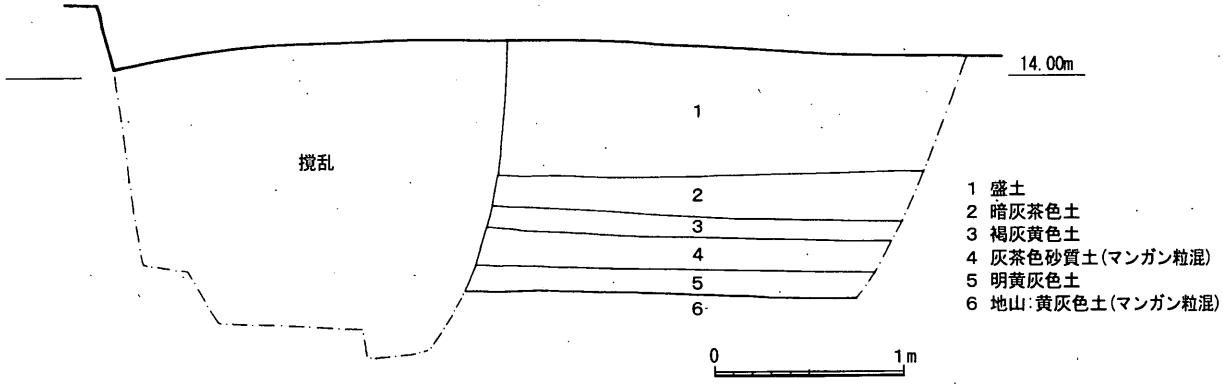
第58図　田山東遺跡調査区位置図



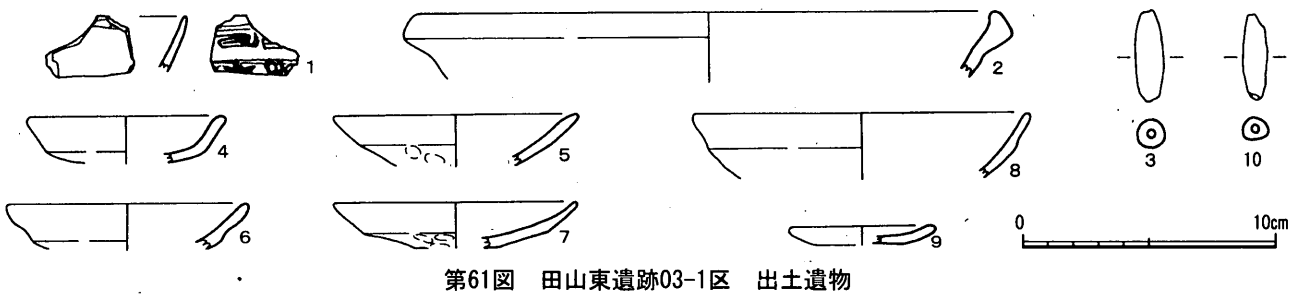
第59図　田山東遺跡03-1区　トレンチ位置図

２．遺物(第61図)

１は磁器の口縁部で、青花碗と思われる。２はいわゆる東播系須恵質土器の捏鉢。３と10は土師質管状土錘。４～７はいずれも白土器の皿。８は瓦器埦。９は土師質小皿。１～５は第２層から、６～10は第３層から出土した。



第60図　田山東遺跡03-1区　トレンチ東断面図



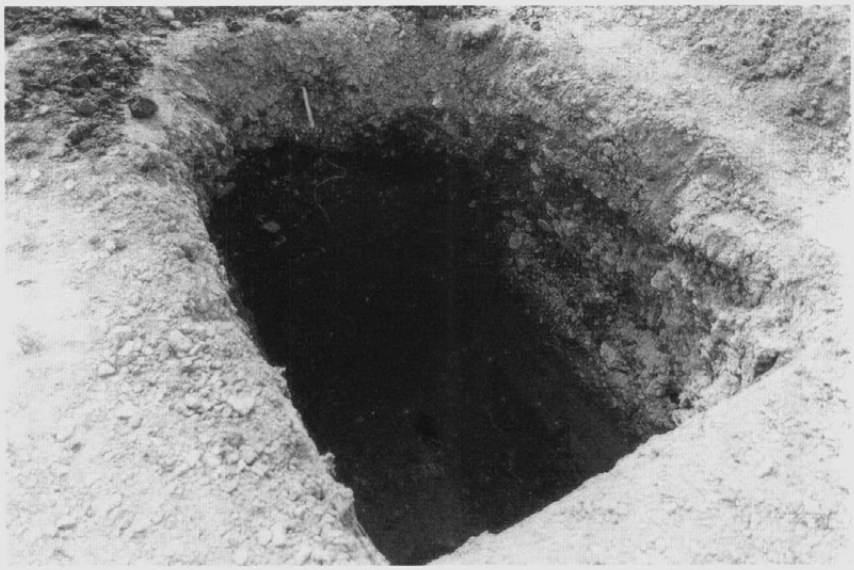
第61図　田山東遺跡03-1区　出土遺物

報告書抄録

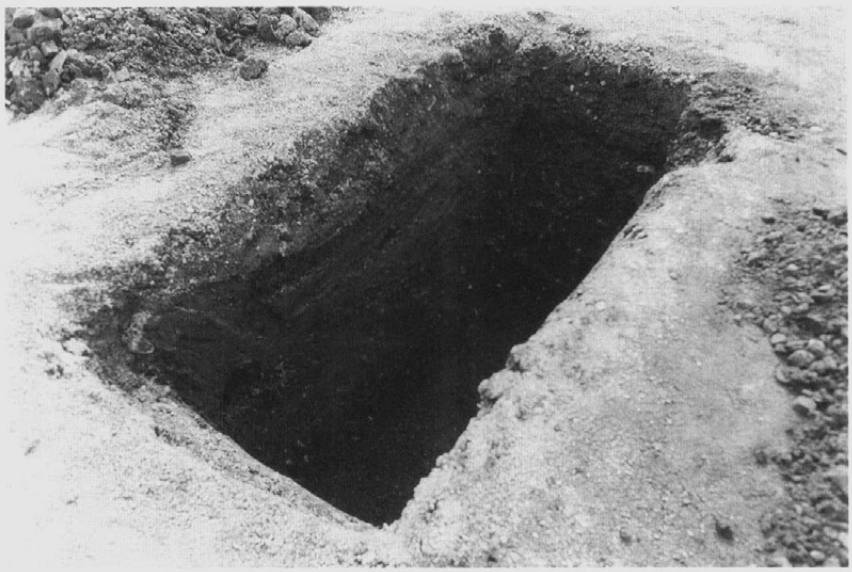
ふりがな	はんなんしまいぞうぶんかざいはっくつちょうさがいよう
書名	阪南市埋蔵文化財発掘調査概要 19
副書名	
巻次	
シリーズ名	阪南市埋蔵文化財報告
シリーズ番号	３２
編著者名	三好義三・田中早苗・上野仁・松本武志
編集機関	阪南市教育委員会生涯学習部生涯学習推進課
所在地	〒599-0292　大阪府阪南市尾崎町３５－１　TEL 0724-71-5678
発行年月日	2004年３月31日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村番号	遺跡番号	° ′ ″	° ′ ″		㎡	
おざきしみず 尾崎清水	おざきちょう 尾崎町	27232	68	34° 21′ 36″	135° 14′ 54″	040119	2.6	住宅
うまがわきた 馬川北	しもいで 下出	27232	61	34° 21′ 33″	135° 14′ 54″	030218	2.9	住宅
うまがわきた 馬川北	しもいで 下出	27232	61	34° 21′ 33″	135° 14′ 55″	030214	3.4	住宅
うまがわきた 馬川北	しもいで 下出	27232	61	34° 21′ 33″	135° 14′ 55″	030214	3.4	住宅
うまがわきた 馬川北	しもいで 下出	27232	61	34° 21′ 32″	135° 14′ 56″	030218	3.1	住宅
うまがわきた 馬川北	しもいで 下出	27232	61	34° 21′ 32″	135° 14′ 55″	030218	3.1	住宅
うまがわきた 馬川北	しもいで 下出	27232	61	34° 21′ 33″	135° 14′ 55″	030324	2.0	住宅
うまがわきた 馬川北	しもいで 下出	27232	61	34° 21′ 32″	135° 14′ 56″	030416	2.0	住宅
うまがわきた 馬川北	しもいで 下出	27232	61	34° 21′ 32″	135° 14′ 55″	030326	2.4	住宅
うまがわ 馬川	しもいで 下出	27232	39	34° 20′ 20″	135° 15′ 07″	030430	3.5	住宅
しもいで 下出	しもいで 下出	27232	66	34° 21′ 18″	135° 15′ 01″	031105	5.4	住宅
しもいで 下出	しもいで 下出	27232	66	34° 21′ 15″	135° 15′ 04″	031113	50.0	住宅
くろだみなみ 黒田南	くろだ 黒田	27232	51	34° 21′ 00″	135° 14′ 44″	030411	3.6	住宅
くろだみなみ 黒田南	くろだ 黒田	27232	51	34° 20′ 53″	135° 14′ 27″	030909	3.6	住宅
じんこうじはすいけ 神光寺(蓮池)	いしだ 石田	27232	20	34° 20′ 34″	135° 14′ 55″	031126	6.0	住宅
むかいで 向出	じねんだ 自然田	27232	43	34° 20′ 52″	135° 15′ 31″	030404	2.2	住宅
むかいで 向出	じねんだ 自然田	27232	43	34° 20′ 56″	135° 15′ 27″	031022	4.0	住宅
こうだ 高田	じねんだ 自然田	27232	70	34° 20′ 44″	135° 15′ 45″	030401	3.0	住宅
いずみとっとり 和泉鳥取	いずみとっとり 和泉鳥取	27232	62	34° 20′ 27″	135° 15′ 47″	030414	4.5	住宅
かいかけ 貝掛	かいかけ 貝掛	27232	19	34° 20′ 33″	135° 13′ 45″	030303	42.0	倉庫
かいかけ 貝掛	かいかけ 貝掛	27232	19	34° 20′ 32″	135° 13′ 39″	031020	74.0	住宅
たやまひがし 田山東	はこつくり 箱作	27232	58	34° 20′ 04″	135° 12′ 30″	030710	8.4	住宅

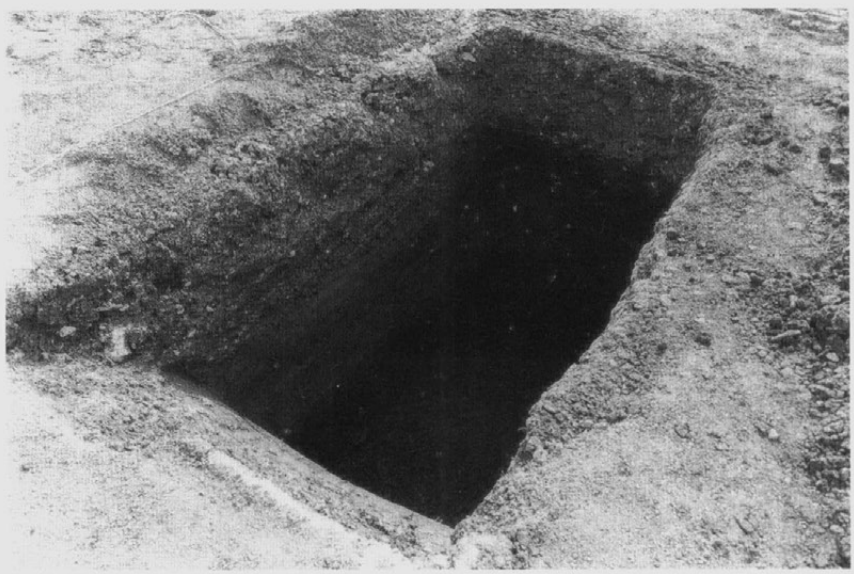
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
おざきしみず 尾崎清水	散布地	弥生時代～近世		製塩土器・土師器・瓦器・瓦	
うまがわきた 馬川北	散布地	弥生時代～近世		土師器・須恵器・瓦器	
うまがわきた 馬川北	散布地	弥生時代～近世		ｻﾇｶｲﾄ・土師器・須恵器・製塩土器	
うまがわきた 馬川北	散布地	弥生時代～近世		ｻﾇｶｲﾄ・須恵器・瓦器・白土器・青磁・土師質有孔土錘	
うまがわきた 馬川北	散布地	弥生時代～近世		土師器・須恵器・陶器・磁器	
うまがわきた 馬川北	散布地	弥生時代～近世		須恵器・製塩土器・瓦器・白土器・青磁・陶器	
うまがわきた 馬川北	散布地	弥生時代～近世		須恵器・瓦器・土師質蛸壷・陶器・瓦	
うまがわきた 馬川北	散布地	弥生時代～近世		須恵器・土師質蛸壷・陶器・磁器	
うまがわきた 馬川北	散布地	弥生時代～近世		須恵器・土師質蛸壷	
うまがわ 馬川	散布地	中世		須恵器・製塩土器・瓦器・白土器・瓦	
しもいで 下出	散布地	中世～近世	土坑	土師質蛸壷・土師質管状土錘・瓦質土器・陶器・磁器・瓦	
しもいで 下出	散布地	中世～近世		瓦器・青磁・土師質土器・陶器・磁器	
くろだみなみ 黒田南	散布地	中世		土師質土器・瓦器・白磁	
くろだみなみ 黒田南	散布地	中世		土師器・須恵器・瓦器	
じんこうじはすいけ 神光寺(蓮池)	散布地・寺社・その他の墓	中世～近世		須恵器・黒色土器・瓦器・白土器・土師質蛸壷・土師質土管・陶器・磁器・瓦	
むかいで 向出	散布地	不明		土師質土器	
むかいで 向出	散布地・墓地	不明			
こうだ 高田	散布地	不明			
いずみとっとり 和泉鳥取	散布地	不明			
かいかけ 貝掛	散布地・集落跡	奈良時代	建物跡・土坑・溝・落ち込み・ピット	須恵器・土師器・製塩土器・瓦器・青磁・土師質蛸壷・土師質管状土錘・瓦質土器・陶器・磁器	
かいかけ 貝掛	散布地	飛鳥時代	土坑・溝・ピット	土師器・須恵器・製塩土器・瓦器・磁器	
たやまひがし 田山東	散布地	中世		瓦器・白土器・青磁・青花・土師質土器・須恵質土器	



尾崎清水遺跡03-1区　トレンチ全景（東より）

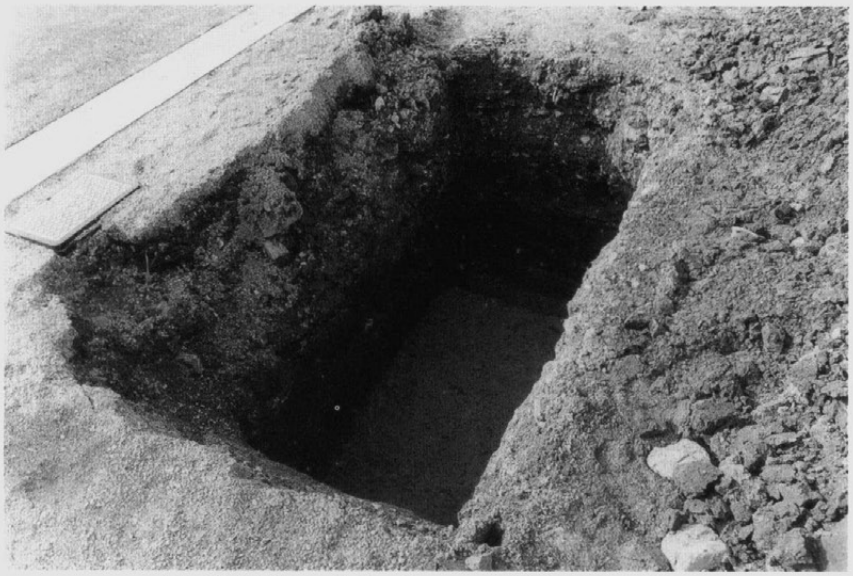


馬川北遺跡02-2区　トレンチ全景（東より）



馬川北遺跡02-3区　トレンチ全景（東より）

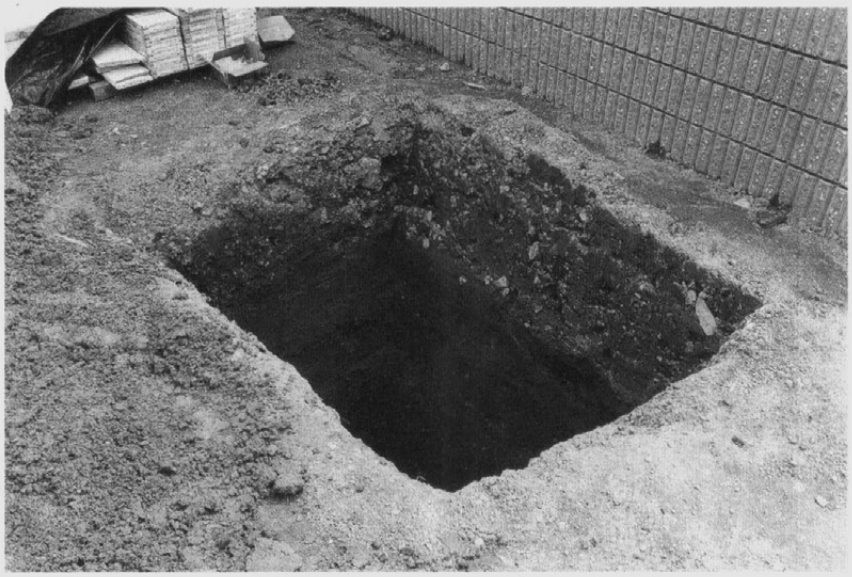
図版2



馬川北遺跡02-4区　トレンチ全景（西より）

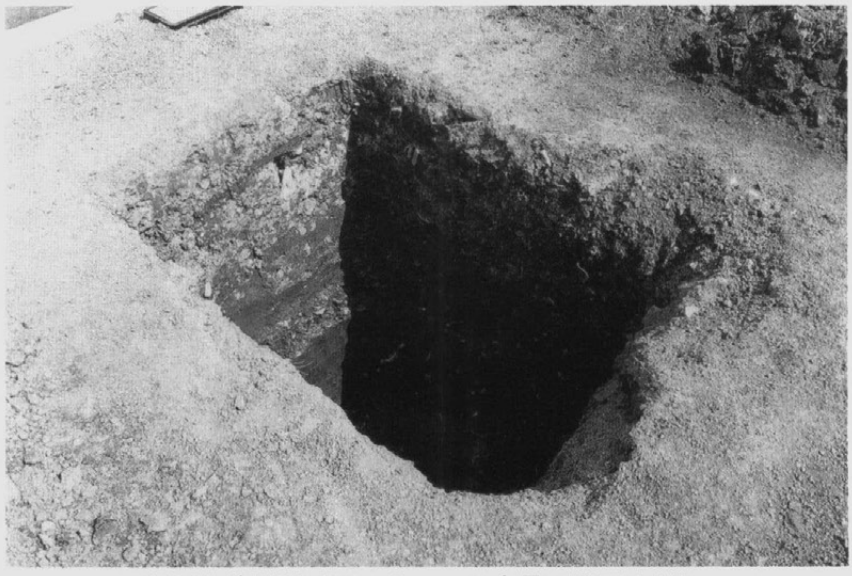
馬川北遺跡02-5区　トレンチ全景（西より）

馬川北遺跡02-6区　トレンチ全景（東より）



馬川北遺跡02-7区　トレンチ全景（北より）

馬川北遺跡02-8区　トレンチ全景（北より）



馬川北遺跡02-9区　トレンチ全景（北西より）

図版4

馬川遺跡03-1区　トレンチ全景（南より）

下出遺跡03-1区　トレンチ全景（北より）

下出遺跡03-2区　１トレンチ全景（北より）

黒田南遺跡03-1区　トレンチ全景（南より）

黒田南遺跡03-2区　トレンチ全景（南より）

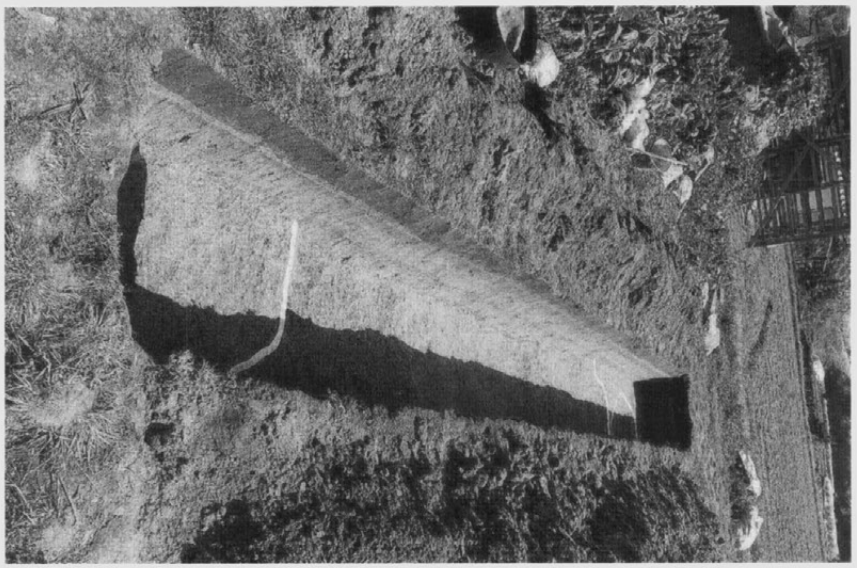
神光寺（蓮池）遺跡03-2区　トレンチ全景（西より）

向出遺跡03-1区　トレンチ全景（東より）

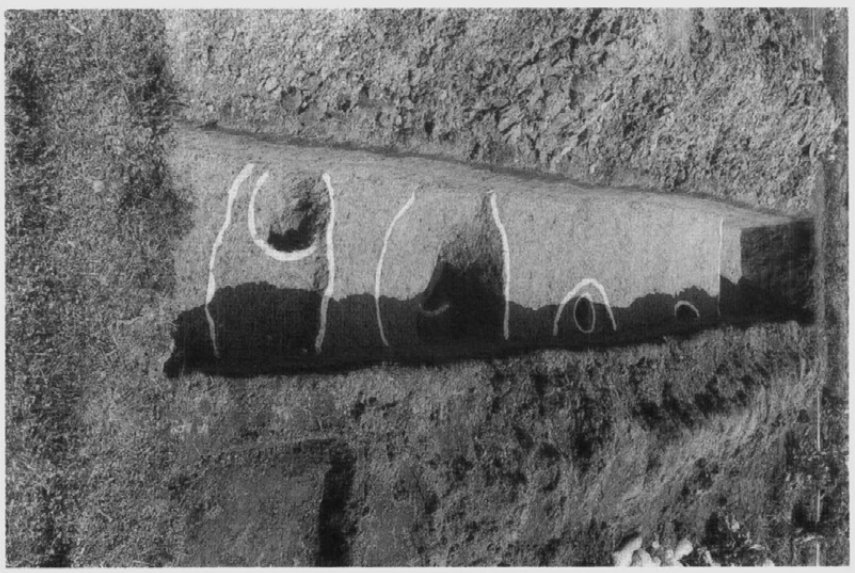
向出遺跡03-2区　トレンチ全景（西より）

高田遺跡03-1区　トレンチ全景（南より）

和泉鳥取遺跡03-1区　トレンチ全景（西より）

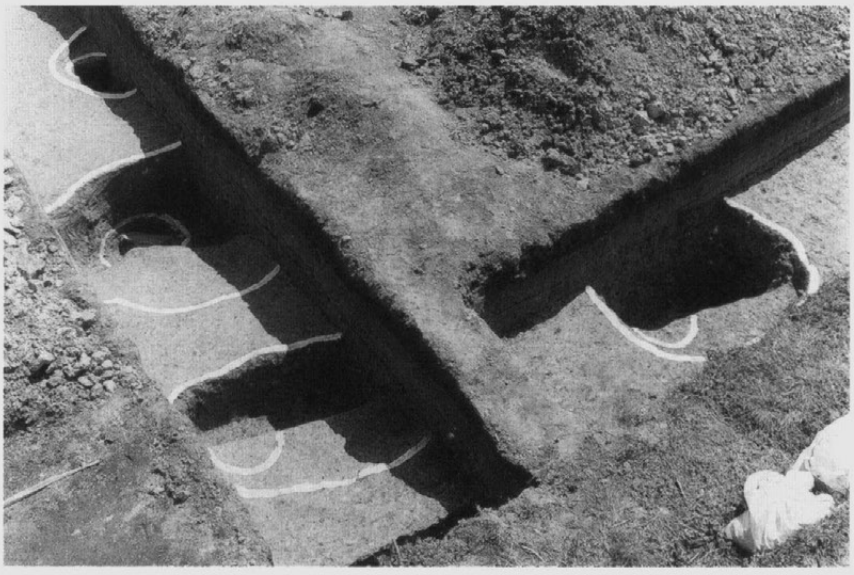


貝掛遺跡02-1区　１トレンチ全景（西より）

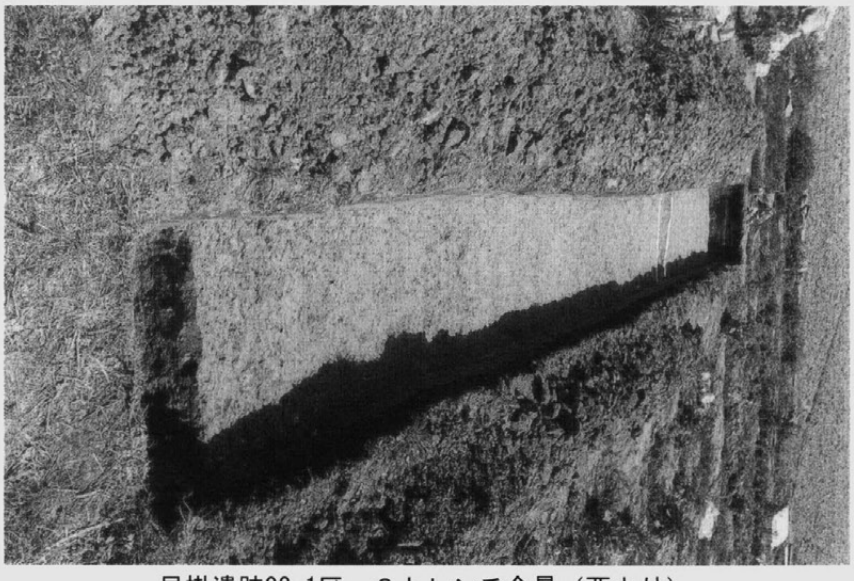


貝掛遺跡02-1区　２トレンチ全景（西より）

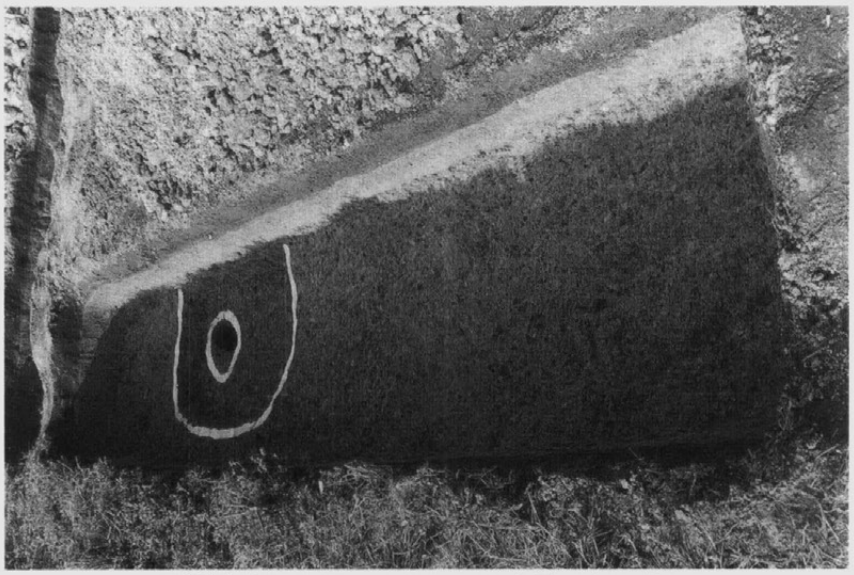
貝掛遺跡02-1区　2トレンチ　建物１柱穴（西より）



貝掛遺跡02-1区　2トレンチ　建物１柱穴（西より）



貝掛遺跡02-1区　３トレンチ全景（西より）



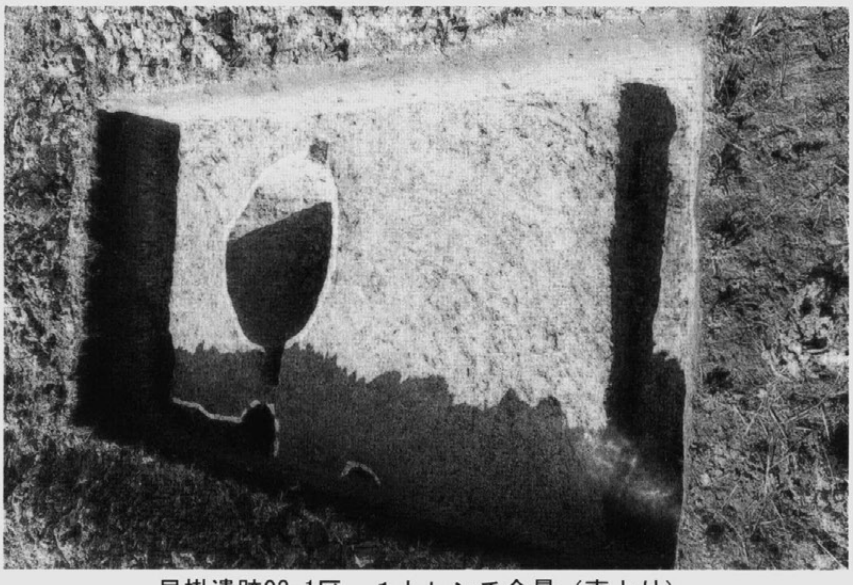
貝掛遺跡02-1区　４トレンチ全景（南より）

貝掛遺跡02-1区　５トレンチ全景（北より）

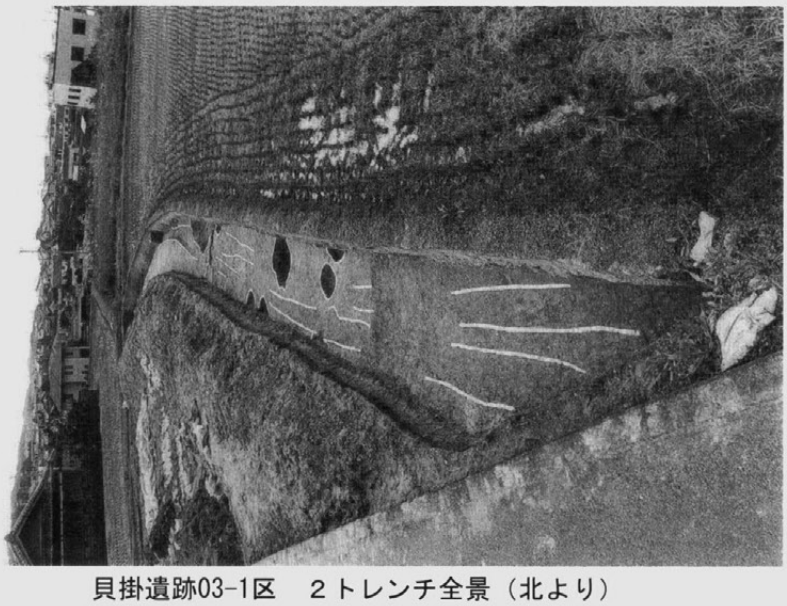
貝掛遺跡02-1区　６トレンチ全景（北より）

図版10

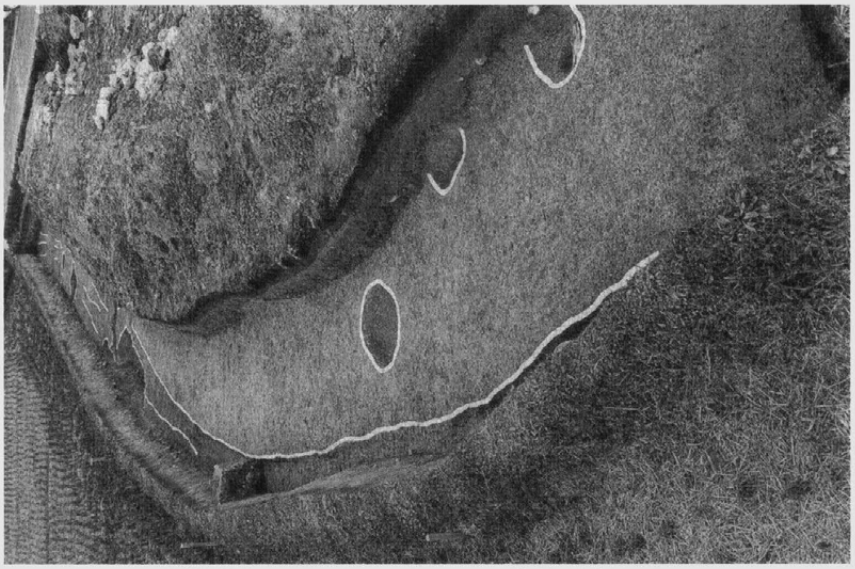
貝掛遺跡02-1区　７トレンチ全景（南より）



貝掛遺跡03-1区　１トレンチ全景（東より）

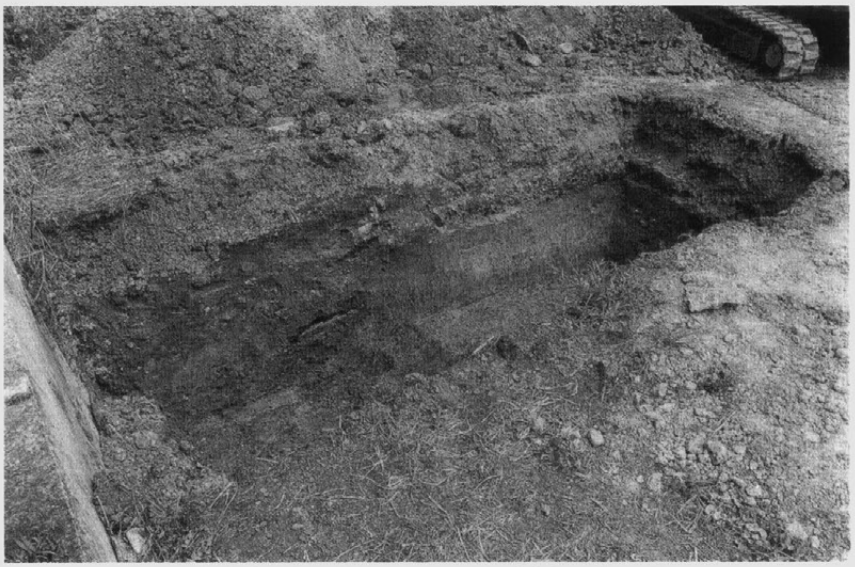


貝掛遺跡03-1区　２トレンチ全景（北より）



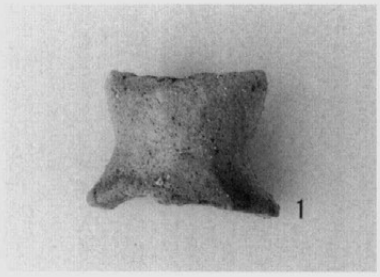
貝掛遺跡03-1区　２トレンチ全景（南より）

貝掛遺跡03-1区　３トレンチ全景（東より）

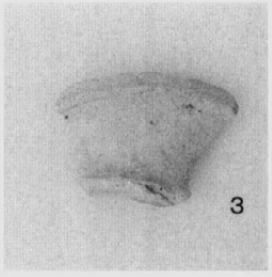


田山東遺跡03-1区　トレンチ全景（北より）

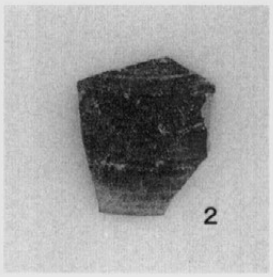
図版12



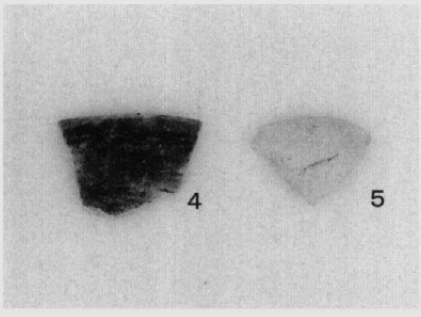
尾崎清水遺跡03-1区　出土遺物



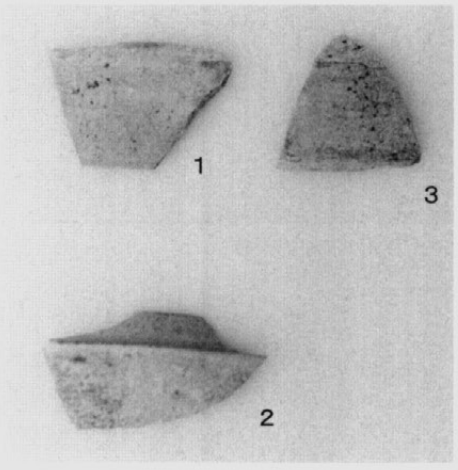
尾崎清水遺跡03-1区　出土遺物

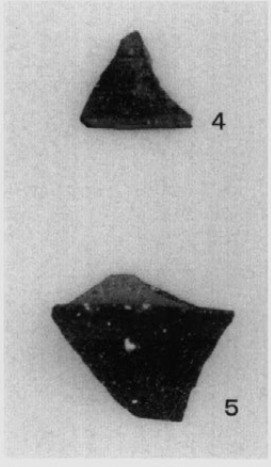


尾崎清水遺跡03-1区　出土遺物

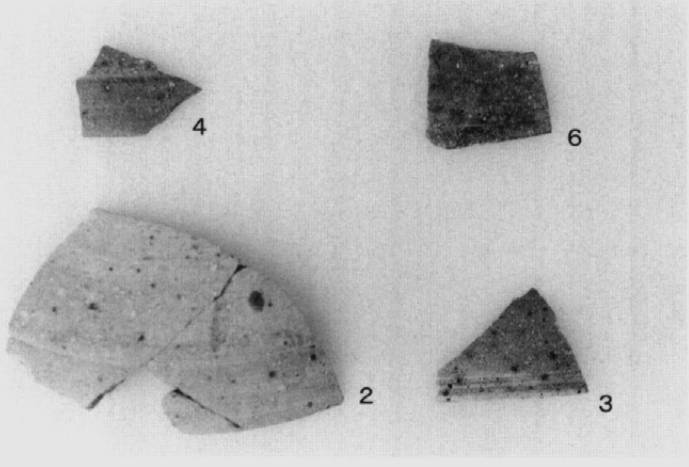


尾崎清水遺跡03-1区　出土遺物

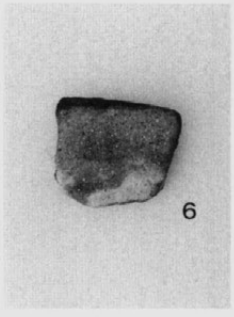




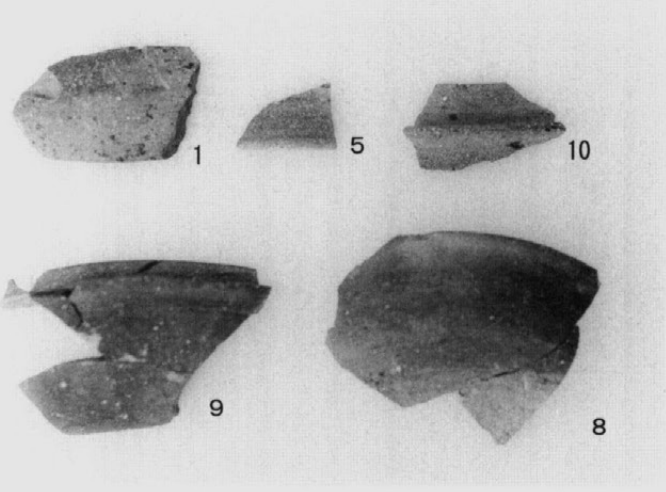
馬川北遺跡02-2区　出土遺物



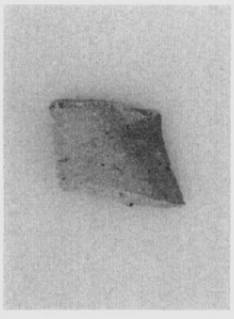
馬川北遺跡02-3区　出土遺物



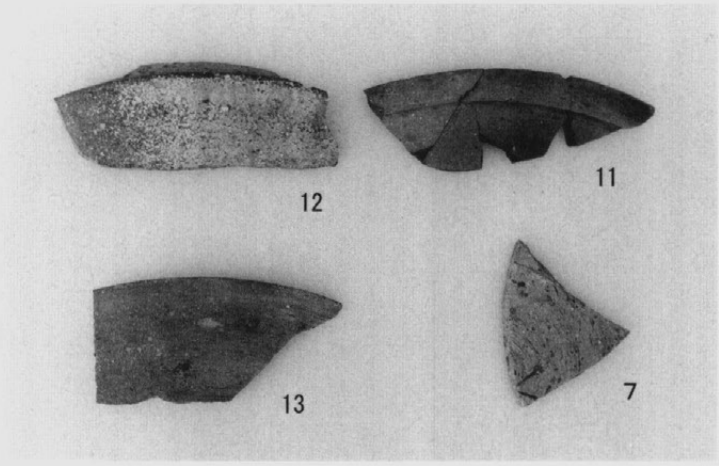
馬川北遺跡02-2区　出土遺物



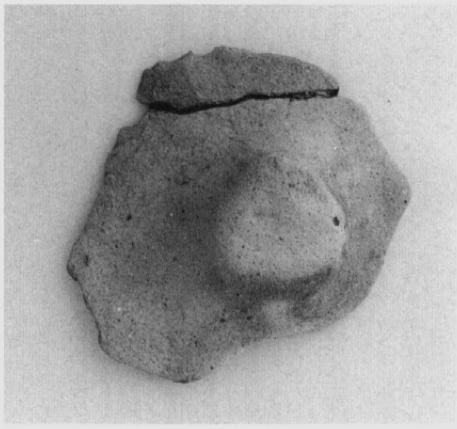
馬川北遺跡02-3区　出土遺物



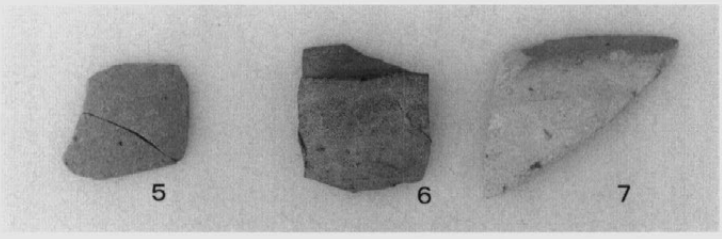
馬川北遺跡02-2区　出土遺物



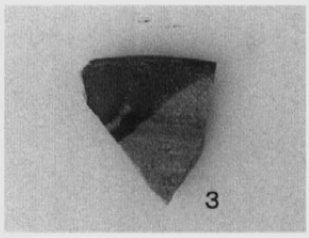
馬川北遺跡02-3区　出土遺物



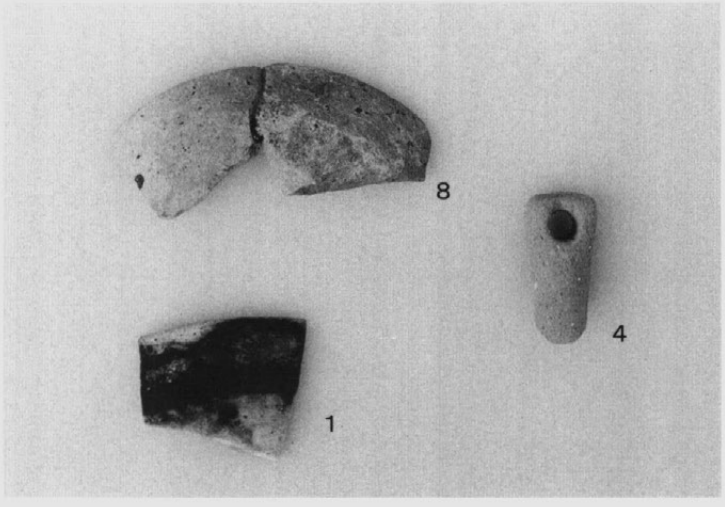
馬川北遺跡02-3区　出土遺物



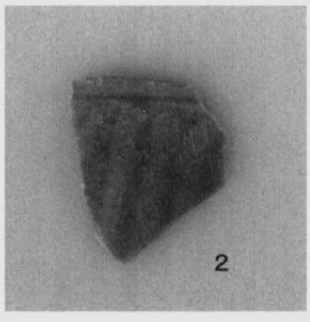
馬川北遺跡02-4区　出土遺物



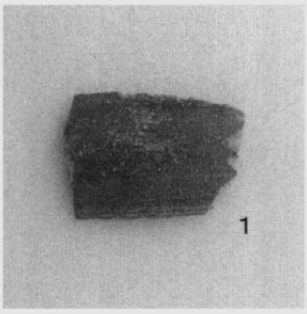
馬川北遺跡02-4区　出土遺物



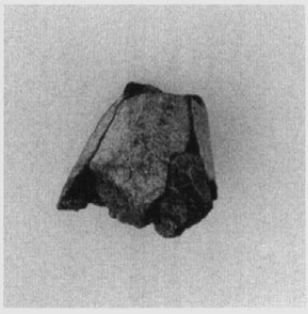
馬川北遺跡02-4区　出土遺物



馬川北遺跡02-4区　出土遺物

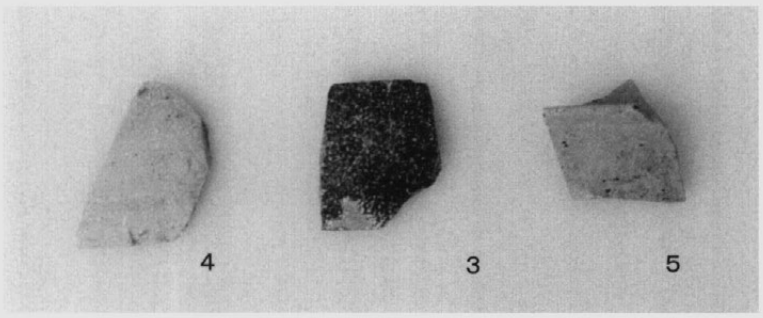


馬川北遺跡02-5区　出土遺物

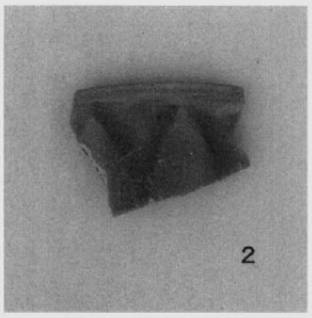


馬川北遺跡02-5区　出土遺物

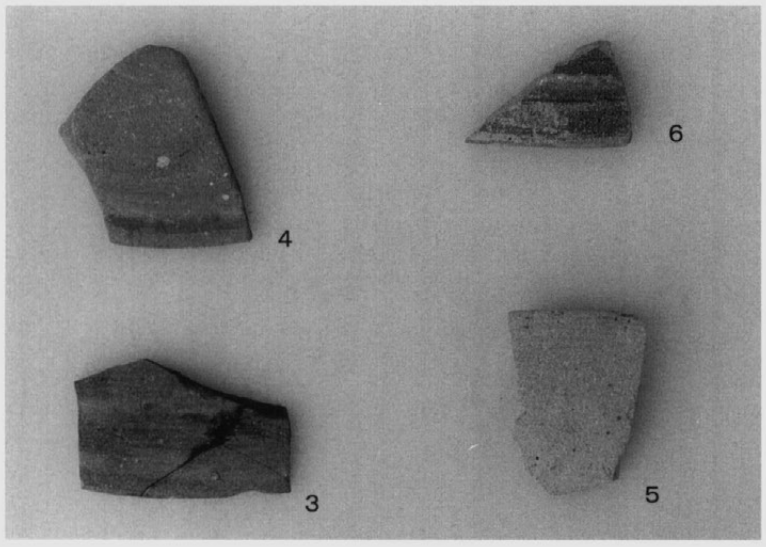
図版14



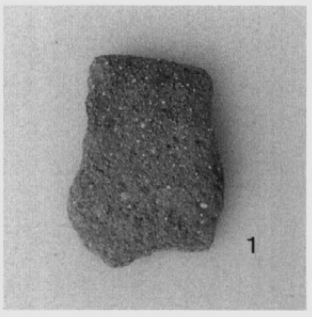
馬川北遺跡02-6区　出土遺物



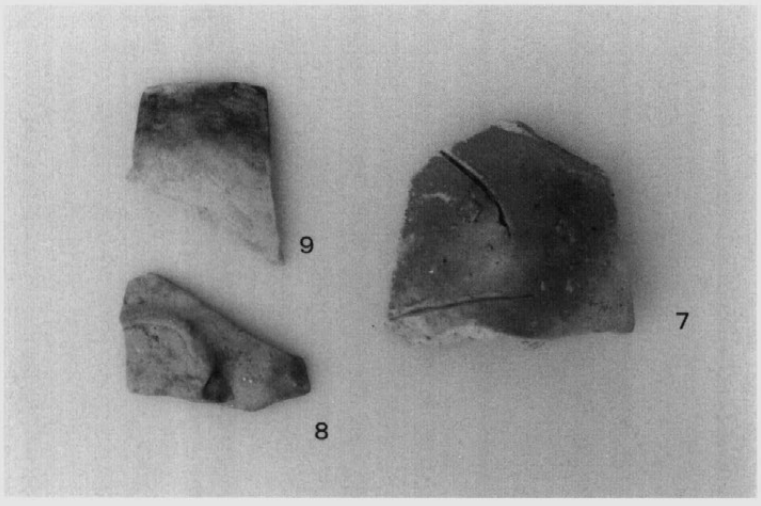
馬川北遺跡02-6区　出土遺物



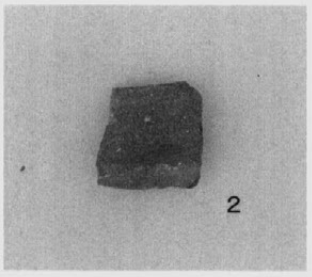
馬川北遺跡02-7区　出土遺物



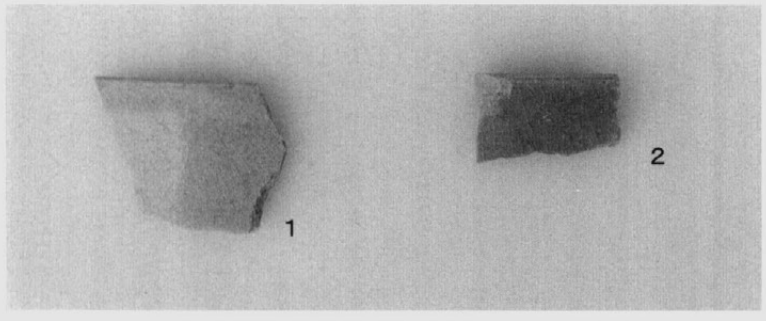
馬川北遺跡02-6区　出土遺物



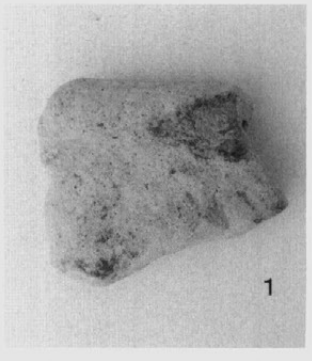
馬川北遺跡02-7区　出土遺物



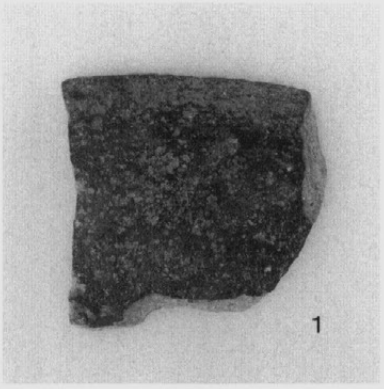
馬川北遺跡02-9区　出土遺物



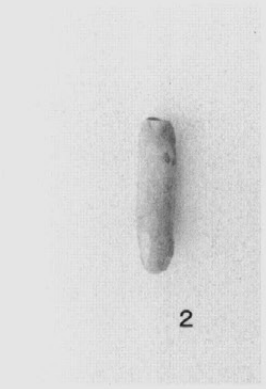
馬川北遺跡02-7区　出土遺物



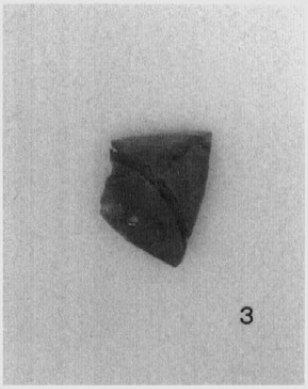
馬川北遺跡02-9区　出土遺物



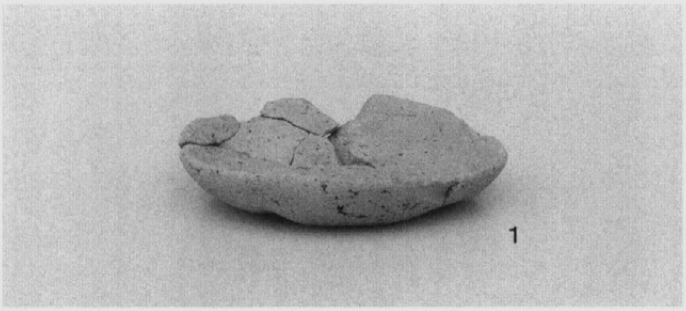
下出遺跡03-1区　出土遺物



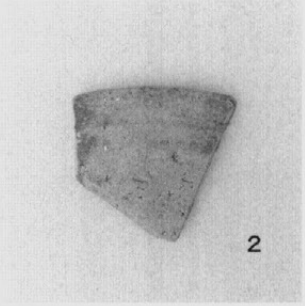
下出遺跡03-1区　出土遺物



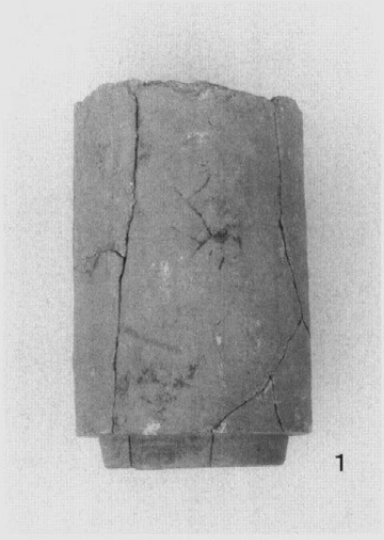
下出遺跡03-2区　出土遺物

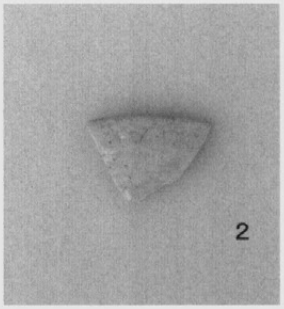


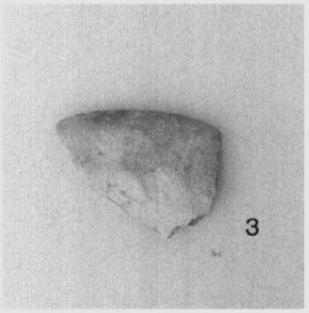
下出遺跡03-2区　出土遺物

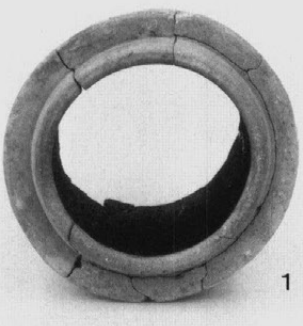


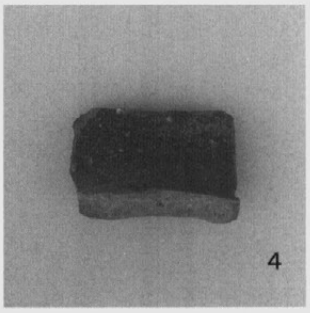
下出遺跡03-2区　出土遺物





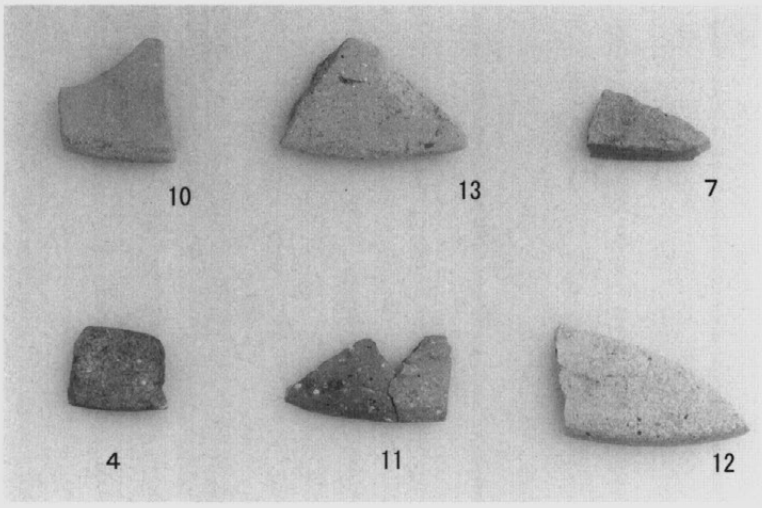


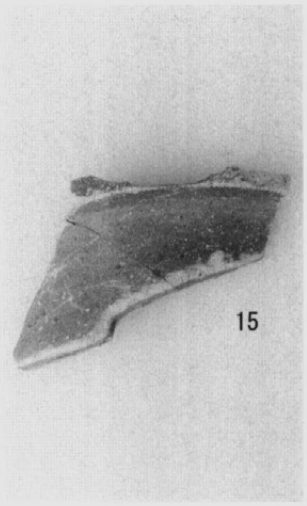


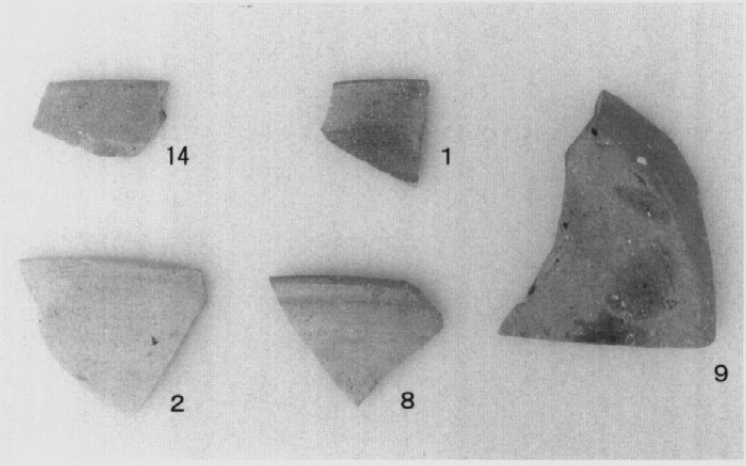


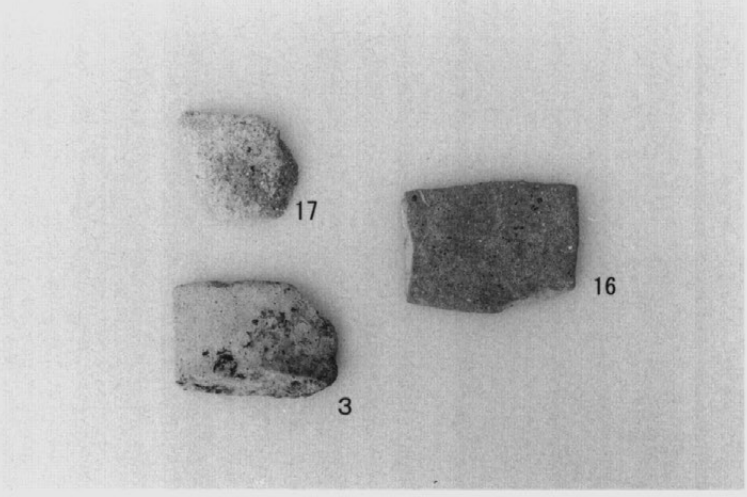
神光寺(蓮池)遺跡03-1区　出土遺物

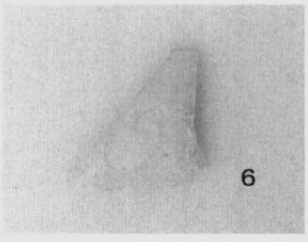
図版16

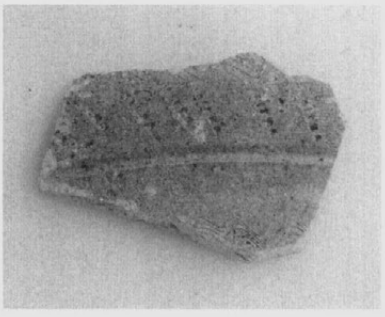




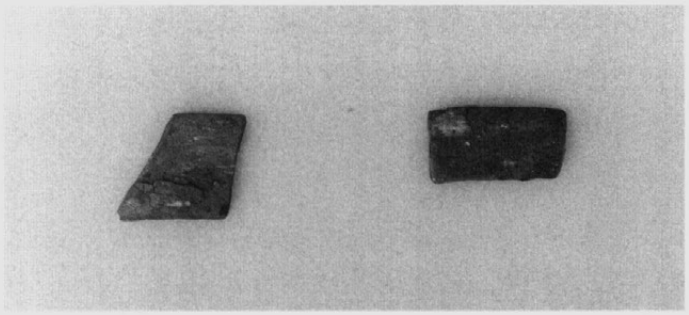




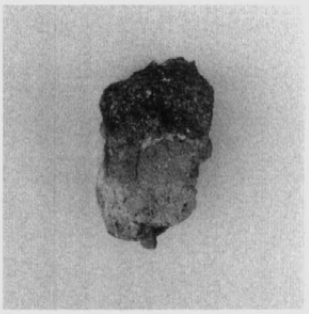




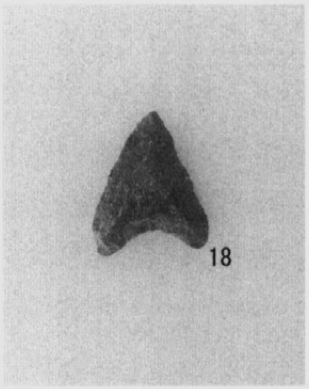
貝掛遺跡02-1区　出土遺物



貝掛遺跡02-1区　出土遺物

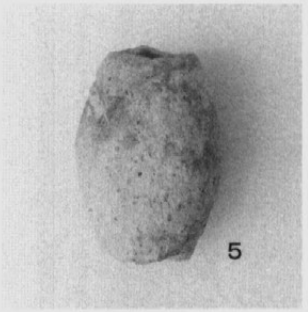


貝掛遺跡02-1区　出土遺物

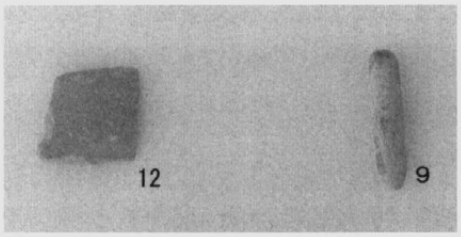


貝掛遺跡02-1区　出土遺物

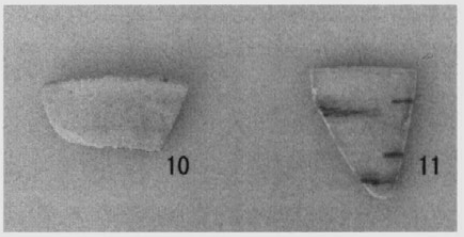
貝掛遺跡02-1区　出土遺物



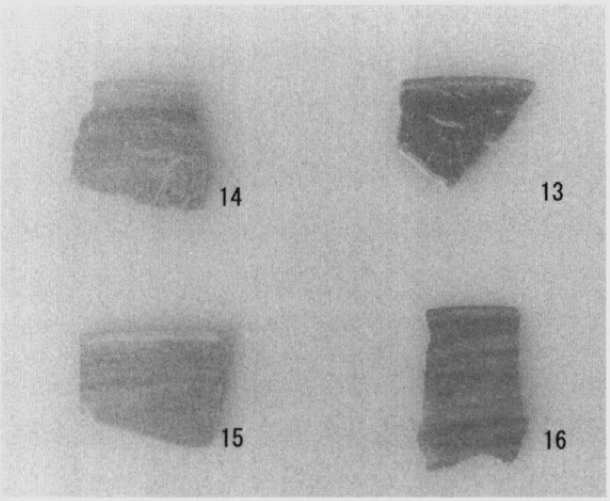
貝掛遺跡02-1区　出土遺物



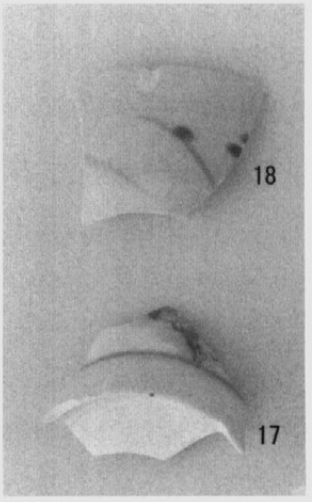
貝掛遺跡03-1区　出土遺物



貝掛遺跡03-1区　出土遺物

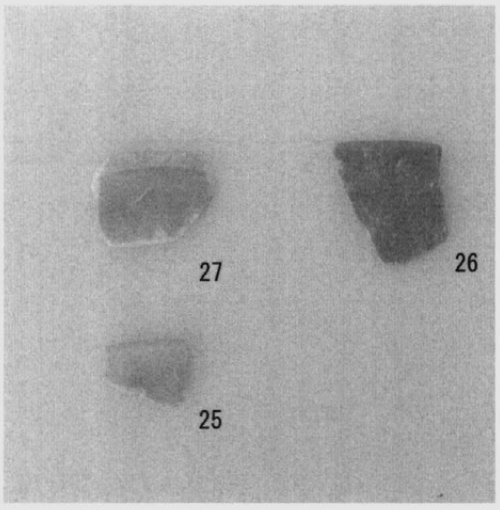


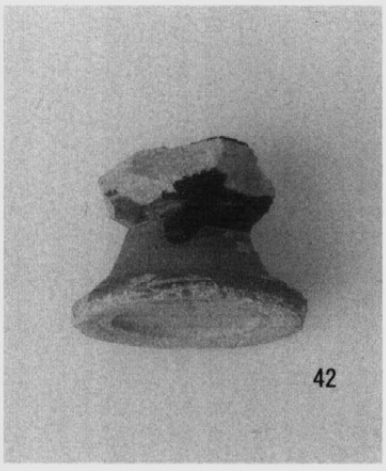
貝掛遺跡03-1区　出土遺物

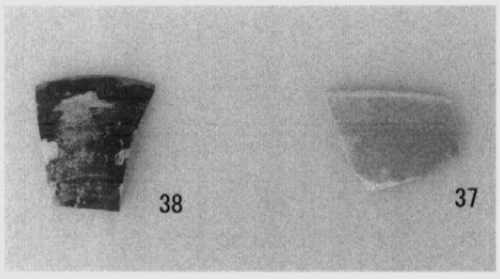


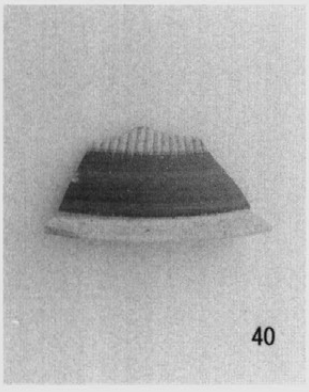
貝掛遺跡03-1区　出土遺物

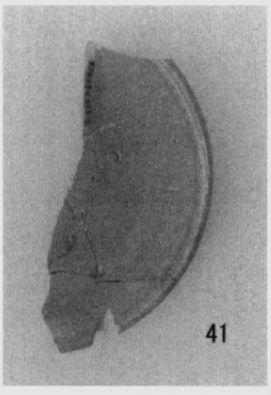
図版18

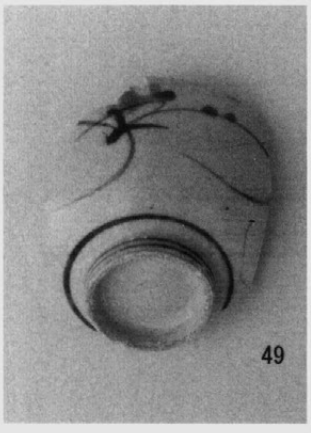


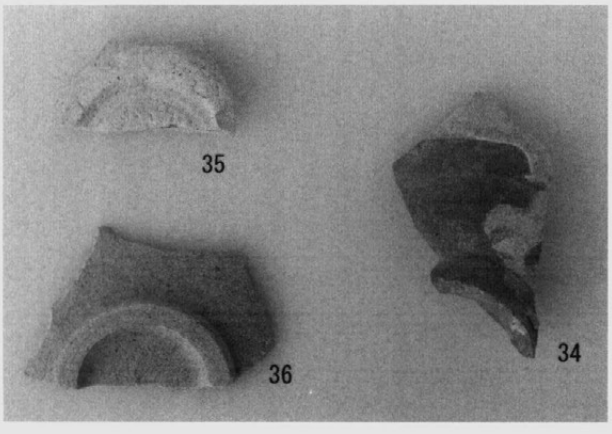


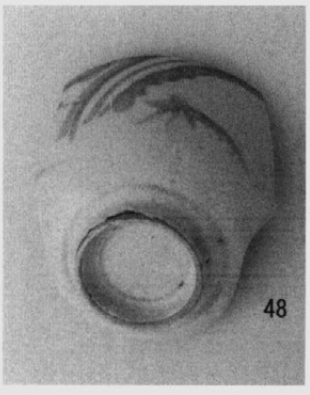




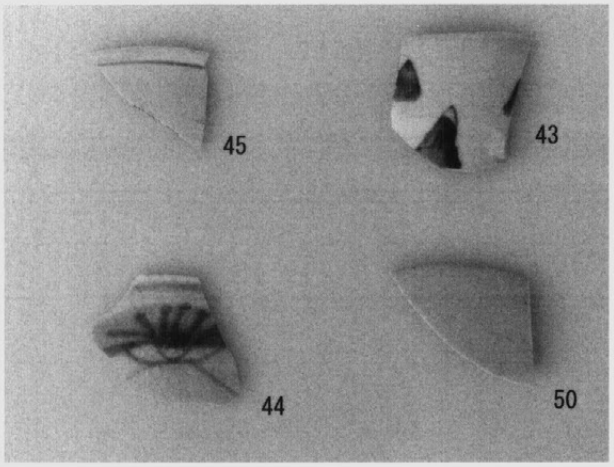


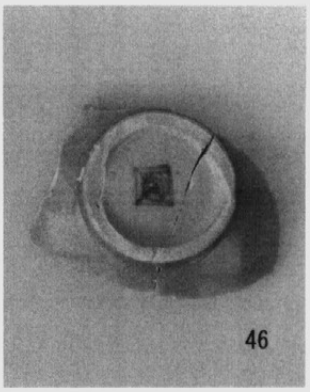


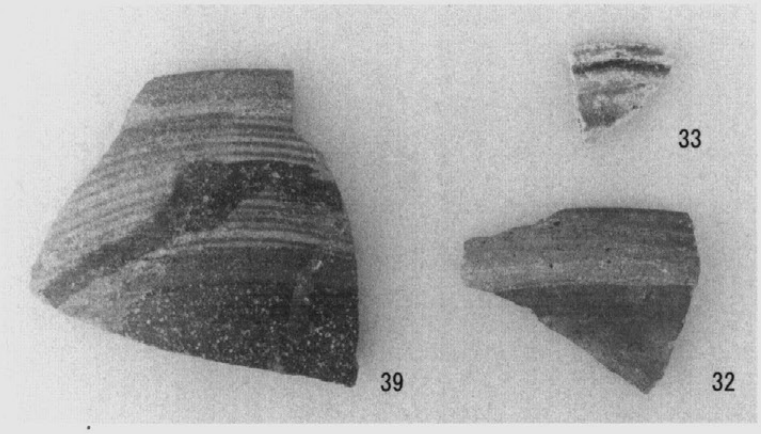


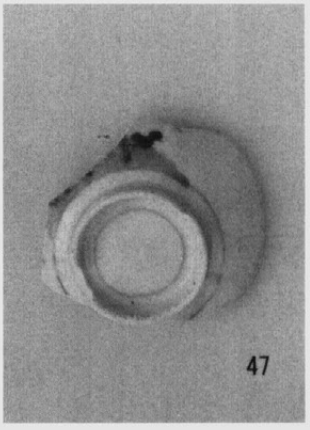


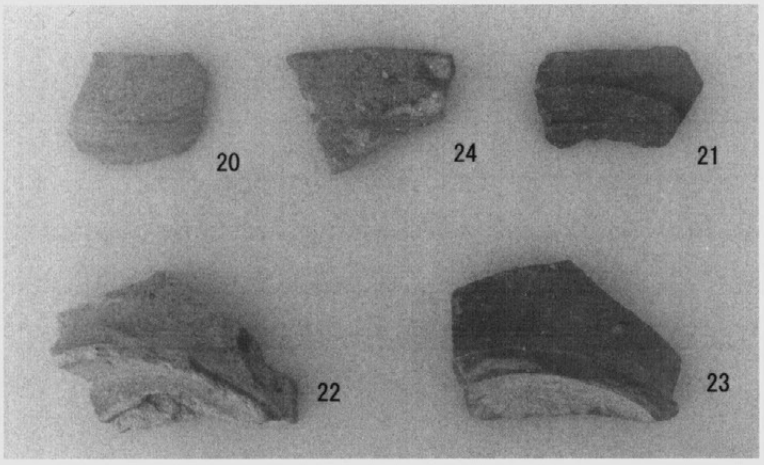
貝掛遺跡03-1区　出土遺物

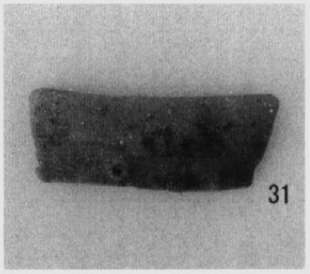


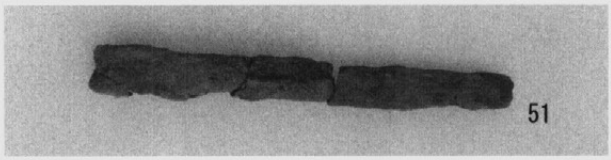


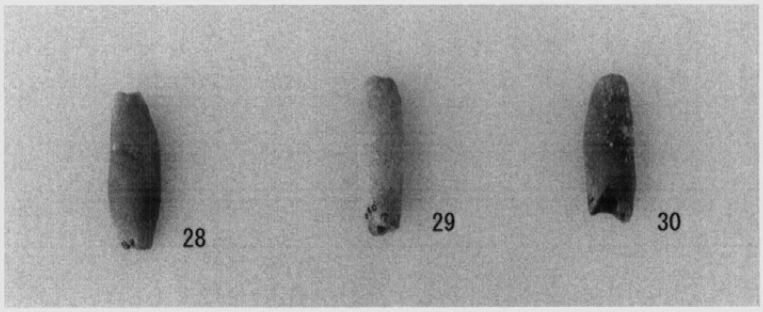






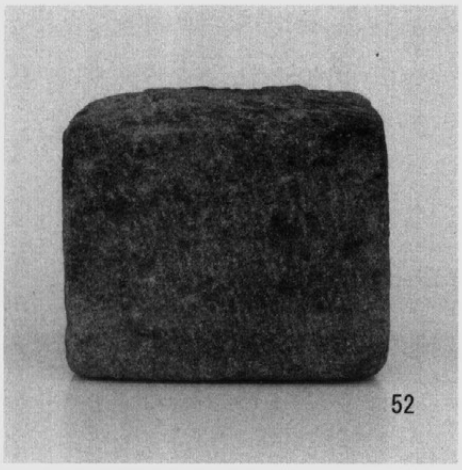


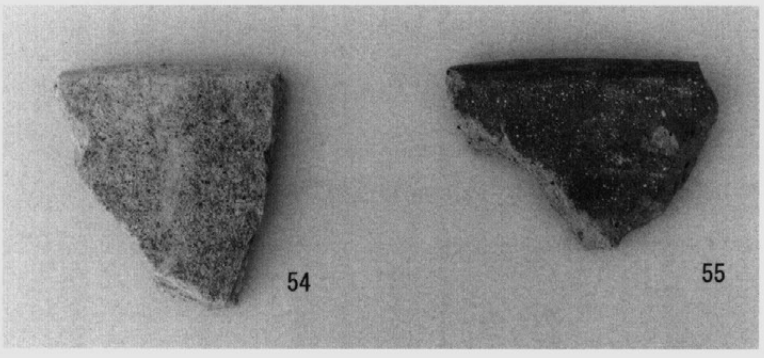


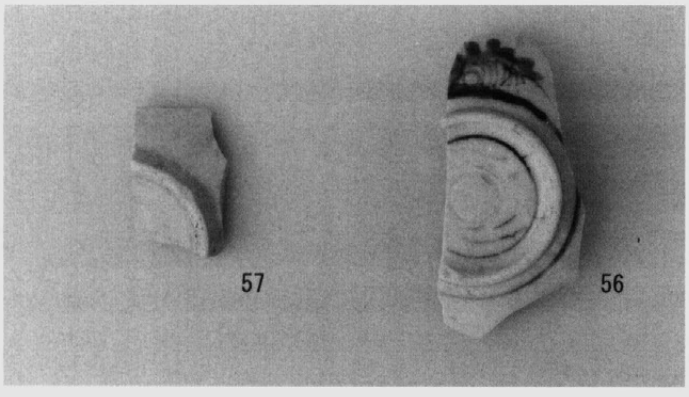


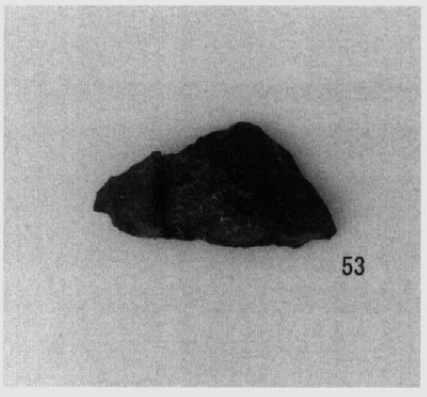
貝掛遺跡03-1区　出土遺物

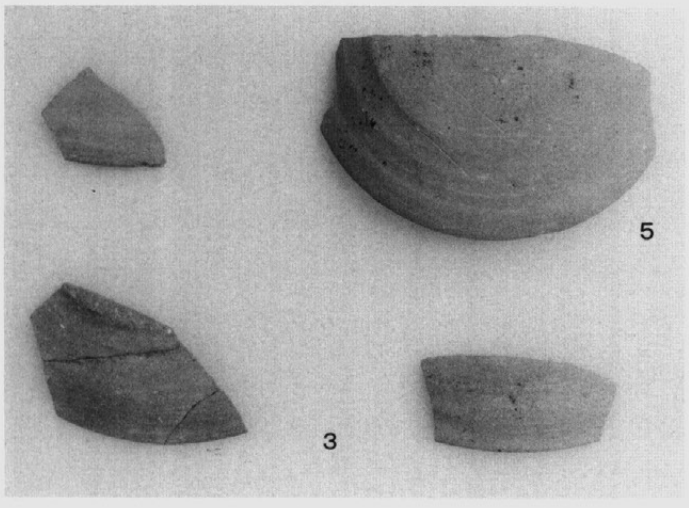
図版20

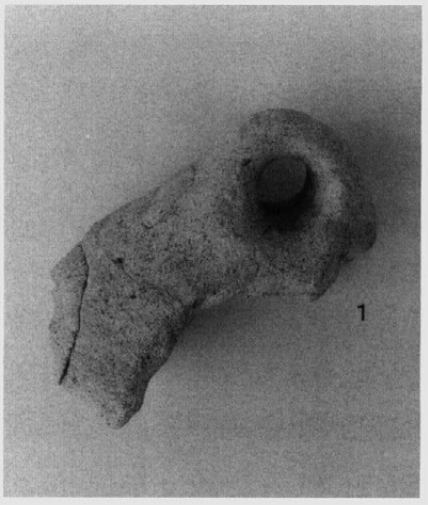




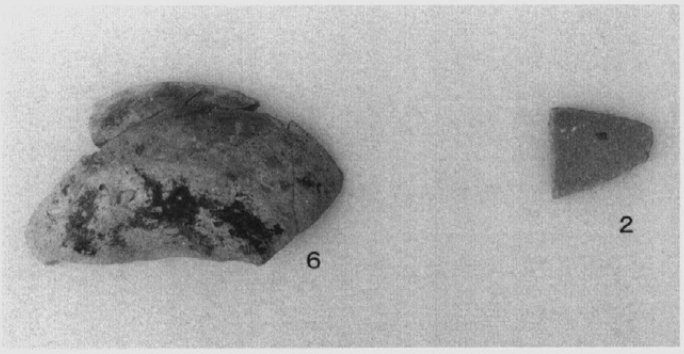




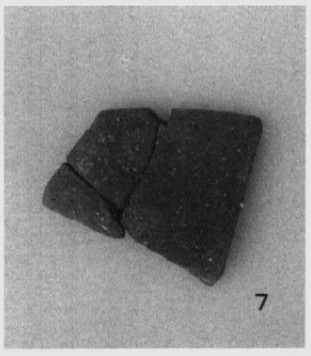




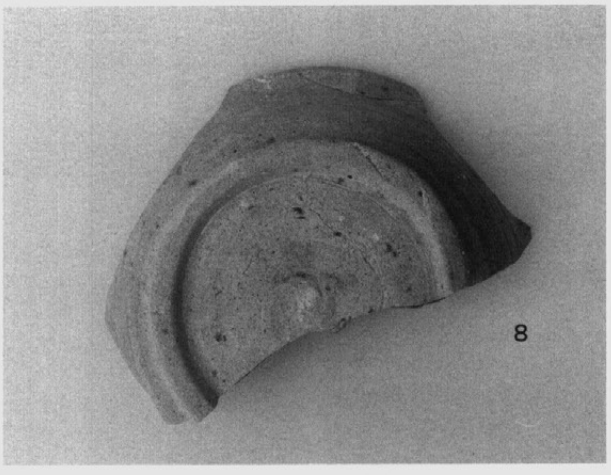
貝掛遺跡03-1区　出土遺物



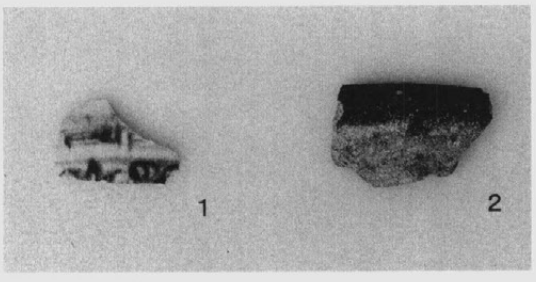
貝掛遺跡03-1区　出土遺物



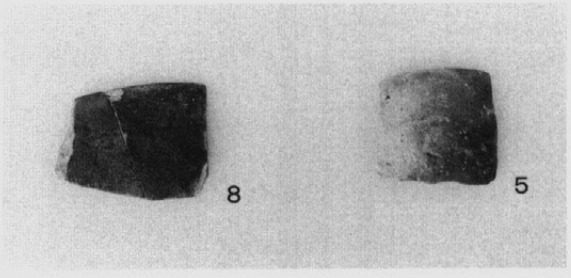
貝掛遺跡03-1区　出土遺物



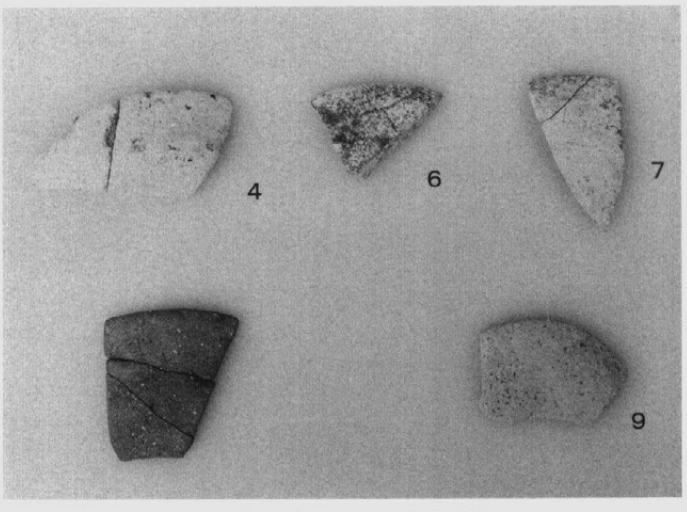
貝掛遺跡03-1区　出土遺物



田山東遺跡03-1区　出土遺物



田山東遺跡03-1区　出土遺物



田山東遺跡03-1区　出土遺物

田山東遺跡03-1区　出土遺物

阪南市埋蔵文化財報告 32

阪南市埋蔵文化財発掘調査概要XIX

２００４年３月

発　行：阪南市教育委員会生涯学習部
生　涯　学　習　推　進　課
大阪府阪南市尾崎町35の１
印刷者：三　和　印　刷　株　式　会　社
阪南市鳥取中２０８－１５